みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

服装専門検索語辞書（MCDシソーラス）の構造

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2010-02-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大丸, 弘, 高橋, 晴子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00004396

服装専門検索語辞書（MCDシソーラス）の構造

大丸　弘*　高橋晴子**

The Structure of Costume Thesaurus (MCD Thesaurus)

Hiroshi DAIMARU and Haruko TAKAHASHI

In this paper some ideas on structure of concepts concerning clothing and costume are discussed, and a trial thesaurus proposed. The structural features are follows:

The concepts are framed and thus given their theoretical bases by the "Special Classification Table of Clothing."

No descriptor is selected in this thesaurus. Groups of synonyms are arranged in descending order of appearance. If necessary, the first word can be used, in principle, as a discriptor. In place of descriptors, groups of synonyms are changed to retrieval codes.

1. 服装専門分類表の成立経過と構成
2. 分類表と検索語辞書との関係
3. MCD との統合における諸問題
4. 検索語辞書における概念構成の一般論
5. 辞書の具体的構成

1. 服装専門分類表の成立経過と構成

服装，衣料品関連資料の整理を目的として，われわれが服装専門分類表を考案したのは，1977年のことであった。それ以前に，われわれは大阪樟蔭女子大学被服学科に，衣料情報室を開設し，活動をはじめていた。衣料情報室をつくった目的については，すでに何回かのべているので，繰りかえさない [大丸　1977a, 1977b, 1984: 58–60]。情報室においては，われわれは専門分類表を，さしあたり図書の排架基準として用いた。しかし非図書形態資料，とりわけ情報室では重要な位置を占めるファイリング資

* 国立民族学博物館第5研究部
** 大阪樟蔭女子大学，国立民族学博物館研究協力者

料については，自然語による辞書体排列を行った。われわれがその時期に，服装専門分類表を作らなければならなかった最大の理由は'77年4月に第1号を刊行した抄録索引誌〈衣料情報レヴュー〉のなかでの，文献の排列のためである。この専門分類表については，上記二次資料誌の創刊と同時に，高橋によって発表がなされた[高橋 1977]。そののち現在まで8年の経過の中で，われわれの資料整理はいくつかのあたらしい環境を経験してきた。そのひとつは当然のことながら，われわれがかかえる資料の蓄積である。〈衣料情報レビュー〉は最近号(1985年12月—No. 18)までに14,320文献を掲載した。この文献数にたいしては，能率的な累積検索の手段をあたえなければならない。また自然語排列を行ってきたファイル資料は，資料自体とあわせて見出し語の無制限な増加と，見出し語と見出し語の関係の非論理性のため，整理者以外が検索することは困難になりつつある。他のあたらしい環境とは，われわれの蓄積してきた資料を，国立民族学博物館のデータベースの一部として利用する，プロジェクトの着手である。このプロジェクトは大丸の個人研究として行われてきたのであるが，その内容は，文献，標本，映像（造形）等の資料形態に共用の検索語辞書を用いての，服装関係資料のアーカイブズの構想である。このような条件にうながされて，われわれはこれまでの服装専門分類表を再検討するとともに，この分類表にもとづいて，服装専門検索語辞書[1]の素案を提出するに至ったのである。

表1　旧　分　類　表

服装専門分類表		
flow-step	item	助記
A総記	P総記	1参考図書
B消費・行政	Q素材	2一般図書
教育・情報	Rメンズウェア	3雑誌
C流通	Sウィメンズウェア	4新聞
Dデザイン・生産計画	T子供服・ベビー服	5パンフレット
E工学・工業	Uアンダーウェア	6B4カード
F小売	V和服	7B6カード
	Wアクセサリー	8特殊資料
	Xヘアー・化粧	(0歴史 地理)

1) 図書館学的にいえば，これは服装専門件名標目表といってもよい。件名標目表と検索語辞書とは歴史的にもおなじものとはいえないが，今日ではこれを強いて区別する必要はないであろう。

なお，本稿で用いている用語のうち，索引語と検索語の関係については，坂本徹朗『情報検索』[坂本　1976: 77–79]の説明が要領を得ている。ただし本稿ではその資料対象の理由から，文献語といういいかたはもちいず，すべて自然語とよんでいる。

以上にのべた経過からして，最初に服装専門分類表の説明をする必要があろう。この分類表は，ふたつの面 (facet) の組み合わせ構造になっている。すなわち，服装，衣服に関連する諸概念をふたつの分析枠によってとらえる。分析枠の第1は，衣服の生産から消費への流れ (flow-step) であり，第2は，物としての個々の衣服 (item) である。これに助記を組み合わせるのであるが，本分類表における助記のうち形式区分は歴史区分と地理区分のみで，実際には使用しなかったから，2面のカテゴリーの組み合わせによる，ファセット分類といえる。それ以前のいくつかの服装専門分類表[2]は，われわれの知る範囲ではすべて一次元分類であった。これはひとつには，博物館的な，即物的な観点からのものの整理の伝統，またその必要がつねに先行したためであろう。したがって今日でも，静止画像的なものとしての服装観が，研究者の間にさえゆきわたっているように認められる[3]。従来の分類表における分類規準の交錯の主な理由が，分析枠のこの一次元性にあったとみて，われわれは第2の分析枠――衣服の生成と流れ――を提起したのであった。

ところで，対象分野のなかで予想されるあらゆる主題概念を分析的にとらえるため，仮りに2面の分析枠を設けるとして，その2面――ふたつのカテゴリー――の内容の妥当性は，どのようにして保証されるだろうか。分析枠についての一般論，すなわち基本カテゴリーについては，著名な Ranganathan のそれ以後，さまざまな構想が提出されてきたが，それらを集約して森は，(1) personality, (2) 部分，(3) 物質，(4) 運動，(5) 作用，(6) 性質，(7) 操作，(8) 空間，(9) 時間，(10) 構造の10を主張している [森　1957: 26–30]。しかし森をはじめ，分析枠の研究が専ら自然科学，工学技術の領域を対象に議論されてきたためか，これらのカテゴリーは，人文，社会科学の諸分野にとっては，いくぶん抽象的で，比喩的であるように感ぜられる。仮りにわれわれの理解が不十分であったとしても，実際にこれら10面のカテゴリーのなかの，さらにまた相当数のメンバー（面を構成する区分概念）をたがいに相乗して，最終的な複合的主題概念を得るとなると，その分析操作のプロセスにおいて，とくに人文，社会科学分野の場合，かなりの主観的判断のまぎれこむことは避けられないのではないか。ここにおいてわれわれは，われわれの分析枠の客観的妥当性を，基本カテゴリー論に求めることは一応放棄した[4]。

2) 文化女子大学・文化服装学院図書館編『被服に関する雑誌記事索引』，昭和女子大学編『生活美学研究年報』，東洋紡績株式会社社会経済研究所編『繊維文献目録』

3) ものとしての衣服のみを対象とする分類には，微視的で，完璧的な分類表を数えることができる。日本規格協会『JIS 用語辞典　VI　繊維編』，通産省『日本標準商品分類』

4) 基本カテゴリーにもとづいての，分析枠設定の方法については，坂本がその手順を具体的にのべている [坂本　1976: 70]。

item の面は，そうした面を設けること自体に異論はないとおもうが，問題は flow-step の面である。このような分析枠を設けることについて，前稿で高橋はつぎのように説明した。

> その構想の基本的理念は，服装・衣料品のもつ社会的性格の重視であり，それと関連して，衣服を女の家事の一部としてとらえようとする従来の観念の払拭をはかることであった［高橋　1977: 369］。
>
> 衣服の生産から消費に亘る諸問題を，現実的，かつ総合的にとらえるには，服装のもつ産業社会的側面が，専門分類基準の不可欠な要素としてとりあげられなければならない。とくに，従来の生産志向的な繊維・衣料産業のとらえ方に対して，流通段階についての，周到的な分析が望まれる［高橋　1977: 372］。

われわれの“産業志向的”服装認識は，item 中のメンバー概念にも示される。メンズウェア，ウィメンズウェア，子供服ベビー服，アンダーウェア，和服という区分は，図書分類論的な論理性を欠いていて，その点は本分類表を口頭発表したさいにも，指摘された[5]。この分けかたは図書分類的観点というよりも，産業分類的観点なのである。したがって文献資料の分類にあたっては，和服――子供服ベビー服――アンダーウェア――メンズウェアおよびウィメンズウェアの順に，優先順位がつけられる。こうした分析枠の妥当性についての結論は，われわれはむしろその実用性によって，きめられるべきものではないかと考える。われわれがこの分類表によって文献を整理した〈衣料情報レビュー〉は，まもなく10年を迎える。その間にこの分類の合理性について，二，三の肯定的な意見を耳にしたほか，最近では依頼した著者抄録に，この分類記号をつけて返送してくれる人もあらわれだした。少くとも現在までのところ，それほど根本的な矛盾は，分類作業者の立場からは，みいだされていない。

2.　分類表と検索語辞書との関係

分類表のほかに，索引・検索語の整備が必要となったおもな理由は，まえにのべたように，われわれのかかえる資料量の増加である。そのひとつ，ファイル資料の整理に関する問題を，最初にとりあげる。衣料情報室では最初，B4 と B6 のふたつの形態のファイル資料をもっていたが，前者は主としてパンフレット，リーフレット資料，後者は切り抜き資料の整理にもちいられた。これらのファイルには資料そのものが貼

5）高橋晴子〈服装関連分野学術情報の機械検索における問題点――Dialog システムを中心として〉日本風俗史学会関西支部1980年4月26日例会。対象の交錯について，柴田実氏（京都大学）より指摘があった。

布，またはバインディングされ，資料の主題にもとづいて，専門分類表によって分類，排列された。これらの資料の殆どには当然，いくつかの副主題が析出されるのであるが，その結果としてファイル数の数倍になる主題概念へのガイドとして，別に索引カードが作成され，アルファベチカル排列を行った。この主題概念は，無統制の自然語であり，それがそのまま，見出し語として用いられたのである。資料の主題分析は高橋，大丸が行ったから，主題概念をあらわすことばに，なんらかの統制の意図は反映していたはずである。しかし代表語になにをえらぶかということよりも，概念間の階層，類縁関係の判断と，その表記法につねに動揺があり，これらの統制がもはや猶予をゆるさぬ問題となってきた。

一方〈衣料情報レビュー〉においては，その No. 15 からはじまって，紀要論文等の執筆者にたいして，抄録とともに6語以内のキーワードの提出を依頼した。〈衣料情報レビュー〉はまえにのべたように，民博のコスチュームデータベースとして入力され，機械検索が可能となっているが，主題検索にもちいられるのは，主として分ちがきされたタイトルと，上記の，執筆者によって提出されたキーワードとである。このうち，タイトルにふくまれた単位語については後述するとして，執筆者のつくったキーワードの，大体¼くらいは，その概念内容があまりに限定的すぎたり，逆にまた意味が汲みとりにくかったりして，索引語として必要な一般性を欠いている(表2)。こうしたキーワードが提出される理由のひとつは，主題概念の野放し状態という，われわれ編集者の側の不用意さとあわせて，キーワードが検索者の能率のためのものという，キーワードについての認識の不足が，いくぶんかは執筆者の側にもあるような気がする。

以上にのべたような状況のもとに，われわれは専門分類表と併用するかたちでの，専門検索語辞書の作成に着手したのである。われわれの概念構成の基本方針は，つぎのようなものであった。

1. 服装専門分類表にもとづくこと。
2. とりあげる概念は実用的なものであること。すなわち実際に出現したものを尊重すること。
3. すべての資料形態に共通する，検索語を与えること。

表2　執筆者提出キーワード中，不適切な例

奇態停滞；停滞的発展；対立の排除；Ⅲ類；朱の丸い印；大きな違い；同じ事柄；シャネルと女性の地位向上；シャネルの生い立ち；基礎技術の重要性；高年の男子A型者は最大量；特大・特小；範囲価値；意味；特徴；工学

4.　民博のデータベースとしてのぞまれる条件をみたすこと。

これらのうち，本節ではまず，1. について検討する。図書館における件名の歴史——それはほとんど合衆国におけるものであるが——をみれば，実際に購入，排架した図書についてのみの，当該図書館における件名目録が，その発展の中心をなしてきた。これらの件名になんらかの統制が行われたにせよ，図書の増加にともなって件名数がある量を超えると，排列の論理性をもたない辞書体目録では，検索率（再現率）の低下が避けられない。これを救う手段としては，件名だけをリストアップして全体の一覧性を与える方法などもあるが，それでカバーできる件名数にも限りがある。『Subject Headings』の著者 Pettee は，合衆国における伝統的な辞書体目録の普及の前提としては，分類排架された書架への開架式閲覧という条件のあったことを，指摘している [PETTEE　1946: 160]。すなわち，件名はその主題をもつ図書への，クイックアクセスの方法として実用的であるが，それは一方で分類排架の論理性，および完備した各種の主題書誌の存在に支えられてのことだった，という事実を忘れてはならない。坂本によると，現在の商業データベースにおける，主題概念の整理法の傾向は，大きな区分には分類記号を使い，個々の物質名，装置名，実験条件などは，言葉で記述する，ということである [坂本　1976: 92]。JICST の科学技術分類表も，分類表としての構成はとっているが，第3階層以下は，件名的なとらえかたになっている [日本科学技術情報センター　1981]。

分類表と件名表とを組み合わせる場合，分類はそこでとりあげる概念の全体に，論理的な構造性を付与し，一方件名は，分類法のもつ本質的な分析的傾向に，資料出現の現状にもとづいての歯止めをかけ，より実用的な方向へとたぐりよせるのである。また，かって金属工学関係文献にたいして，UDC 分類と件名とを併用した谷の場合は，① UDC によって適切な標数を与えうるものは UDC で処理し，それがむずかしいものにたいしては，件名を与える，② 金属加工のプロセスには UDC の標数を与え，その前後の関連プロセスには件名を与えて区別する，という使いわけをした [谷　1973: 258, 261]。この試みにおいても，一方では UDC 分類のみではいかに厳密な標数づけをしても，検索洩れを防ぐのには限界があること，一方では件名のもつ融通性，という点に着目したものである。ともあれ，件名表の前提には論理的な分類体系が必要であって，件名表はその補完以上であるべきではない，という結論はうごかないであろう。

逆の見方でもあるが，その背後に分類的な体系性があるからこそ，件名が現実主義に徹しうる，ともいえる。現に書架に存在しない本の件名は，その図書館の件名表に

はみいだせないのが件名表のたてまえである。たとえば，パリの Bibliothèque nationale の件名目録 (vedette des matières) は，合衆国の国会図書館の subject headings, 直接にはこれをフランス語に翻訳した，ケベックの Raval 大学附属図書館の件名表を，そのまま用いているのだが，BN に存在しない本の件名は欠けている，という点が Raval 件名表と相異するのである。たしかに，ほんらい件名表が論理性を犠牲にして，実用志向に徹する以上 “論理上そこに存在しうる”主題概念をあらかじめ羅列しておくことは，自己撞着といわなければならない。そこで整理者は，目のまえにおかれた文献を分析して，いくつかの主題となる概念をぬき出すという作業の段階で，横の壁に貼ってある分類表のなかでの，それらの概念の適切な居場所を考えることになるのである。もっと具体的にいうなら，文献中から，現在の検索者にとって，よりのぞましいことばによって主題概念をとらえ，それにつづいて，分類記号にはじまる検索語を，付与するのである。

いうまでもなく，件名の有効性は，分類表へのこのような末端補足的機能にとどまるものではない。件名のもっとも重要な機能は，分類表によって分割された概念——ときにはとび離れたいくつかの枠にまたがる概念の組み合わせを，さししめすことのできる能力である。この場合は，分類表のもつ論理的体系性とは，べつの観点があることになる。服装専門分類表についていえば，その産業志向的な面構造のために，かえって常識的な人文科学系統の概念の居場所がみつけにくい，という難点があった。そのためにそうした概念の多くが，いわば “雑” ということで，総記の中におかれた。こうした事実は，分類表のもつ論理的体系性などといっても，実ははなはだ不完全なもので，その不完全さのゆえに，その体系によっては包みきれない別の観点が，いくらも存在することを意味するのである。ランガナタンにはじまる基本カテゴリー論の系譜は，あらゆる概念に論理的な居場所を与えるための努力ともいえよう。しかしその結果としての，基本カテゴリーの万華鏡的な多次元交錯が，仮りにすべての概念を完全な体系のもとに総括したとしても，果して整理者や検索者に幸せな結果をもたらすかどうか。その点からいえば，分類区分にかかわらず，交錯的な主題概念をとることのできる，件名の機能は，さきの末端補足的機能と同様，分類表の論理性志向の陥る，非実用的晦渋さを救うものといえよう。具体的にいうと，服装専門分類表において，人文科学系の諸概念をメンバーとする，第3の面（カテゴリー）を設ける構想もあったのであるが，結局はその組み合わせの複雑さを怖れて，これらの概念は，いくぶん “非論理的” ではあるのだが **AP**（総記×総記）や **DP**（デザイニング×総記）等に配分したのである。

ところで，分類表のもつ論理性とは，とくにその全体としての体系構造にあらわれる。もっと具体的には，その区分肢の展開論理である。件名表がけっして没論理であるわけではない。しかしこの区分肢の展開論理において，件名表ははるかに恣意性をもっている。件名，ないし索引語も，上部概念 (BT)，下部概念 (NT) の，小さな三角構造はもつ場合がある。索引語（以下とくに断わらないときは件名についてもほぼ同様のことがいえる）がこの三角構造をもつとしても，ある語 W の NT を $w_1, w_2, \ldots w_n$ として，$w_1+w_2+\ldots w_n$ の総和がべつにWとなる必要はない。殊に索引語を出現主義でエントリーしている場合は当然のことである。分類表の，煉瓦の壁面のような完全分割性からみれば，この点での索引語の構造は，論理的にはたしかにゆるいものといえるだろう。しかしそのために一方で，索引語においては概念の交錯は常態的ともいえて，この交錯の処理——具体的には類縁概念の位置関係を指示することが，検索語辞書に要求される重要な論理性である。したがって検索語辞書のもっと素朴な部分は，言葉のもっともつよい類縁関係，すなわち同義異語をあつめることである。分類表はほんらい概念の構造体であって，ある概念をどんなことばでいいあらわそうと，それはさしあたり問題ではない。分類記号は，概念にたいして付与されるのだから。これにたいして索引語は，検索者にとってもっとも身近な，言葉によって検索できることに大きな特色がある。ペティも，辞書体目録が分類目録とちがう第1の点を，この name による排列である，ということを，くりかえし強調している [PETTEE 1946: 152, 153]。そのために検索語辞書，すなわちシソーラスといえば，同義語群から代表語をえらび，それを羅列したもの，という誤解さえ生じた。

服装専門検索語辞書においては，これまでの説明とは矛盾するようであるが，同義語群のなかから代表語——索引語をえらんでいない。同義語群の共有する概念は，検

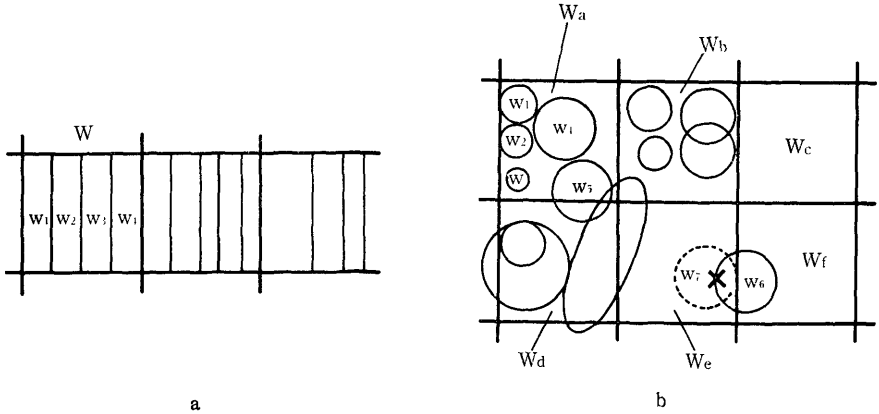


図1　分類法と件名表の概念図

索語である記号（アルファベット2字と3ないし4桁の数字）に直結する。また類義語への『も見よ』参照も原則的には行わない。これらの詳細についてはのちに説明するが，そうした処置のもっとも大きな理由は，分類表の規模，また検索語辞書における主題概念の数が，それほど大きくないためである。服装専門検索語辞書は，むしろ服装専門分類表の細区分といえないでもない。しかし分類表とはっきり相異する点は，細分類であればそのパターンが，図 1-a, の如くにあらわされるのにたいして，検索語辞書の主題概念は，図 1-b, のようにあらわすことができ，そこに，より柔軟性に富んだ，キーワードの本来の性質をみてとることができるとおもう。

3. MCD との統合における諸問題

本節では，服装専門検索語辞書の基本方針 (p. 20) のうち，3. すべての資料形態に共通する検索語を与える，という点についてのべる。衣料情報室の索引カード，および〈衣料情報レビュー〉のインデックスする資料の，形態としての中心は，図書および雑誌の分解レベル，またはパンフレット，リーフレット資料であって，すべて文献資料である。

しかし服装情報システムの構想が，民博を拠点としての服装関係資料の綜合的アーカイブズへと展開するとともに，標本資料および映像（造形）資料のもつ，文献とは性質のちがう，とくに細部的情報を，文献探索のための検索システムといかに整合させるかが，困難な課題として姿をあらわした。

この問題を考えるまえに，われわれが今回，検索語辞書の作成のため，直接に利用した既成の検索語辞書（に該当する資料）を，紹介したい。

文献資料 1. 〈衣料情報レビュー〉No. 1 (1977·4)～No. 10 ('81·12); No. 13 ('83·7)～No. 16 ('85·12)
2. 〈Library of Congress Subject Headings〉1972, 1974
3. 〈国立国会図書館件名標目表〉1980
4. 〈OCM-Outline of Cultural Materials〉1982

映像資料 5. 〈Costume Index〉1937
〈Costume Index: Supplement〉1957

標本資料 6. 〈MCD 標本シソーラス〉1984

すでに説明したように　索引語の抽出にあたっては，われわれは件名表作成の伝統

をまもり，出現語主義を原則とした。ただしこの原則には例外がある。たとえば，**EP** 3.（衣服の保存，手入れに関する主題）の項中に，

320　〔傷み，古び一般〕
321　汚れ（1）
322　黄変（1）
323　摩擦（4）
324　経年変化（2）

という部分がある。「汚れ」以下の概念は，〈衣料情報レビュー〉所収の，文献タイトル中に，実際に出現した例であるが，その中にはたまたま“やぶれ”あるいは“やぶれあな”といった概念がなかった。図書件名表が出現主義に徹せられるのは，収集した図書の内容を，収集した図書からえた件名でインデックスするにとどまっていられるためである。しかしわれわれの場合，対象とする資料は，時代も地域も制限がなく，すべての資料形態にわたって，しかも早急な整理を待つものが山積している。それらを，主として〈衣料情報レビュー〉に出現した，和文文献資料のタイトルにふくまれる概念だけで処理しようとするところに，明らかに無理があるといえよう。件名表作成の伝統に立ち戻るならば，すくなくともわれわれの手許にある，映像資料もふくめた資料の，索引づけがひと通り終了した段階で，そこで得られた索引語にもとづいた，検索語辞書の作成がのぞましい，という見方があるかもしれない。しかしながら，それではその索引づけにあたって，なにをガイドとしたら良いのか，全く白紙の状態で，そのときそのときの判断で索引語を与えた方がよいのか。告白すれば，われわれは過去約4年間，全くフリーハンドの索引づけを，欧文文献資料約4,000件（うち3,200件は入力ずみ—1985・7現在）と，ポジフィルム約40,000点とに対して行い，結局は索引語の非論理性への疑問から，行きづまっているのである。したがって，資料から索引語をみいだすのが先か，そのためのガイドを作成するのが先か，という議論になろうか。

出現語主義という原則は，たしかに一見明快で，実証的であるようにみえる。けれども実際にわれわれがある資料から，主題概念としての索引語を抽出するとき，われわれはけっして“白紙”などではない。その意味では，索引語をひきだす，ぬきだす，という表現も適切ではなく，所詮われわれは，ときとしてさして根拠のたしかではない判断にもとづいて，えらびだしているのである。このような無自覚的な論理にうごかされて作業しているのが現実の姿であるなら，むしろその論理を議論の水面にひきあげるという意味で，索引語としての一種の調整を加えた方がよいのではないか。

もちろん，この調整が図 1-a のかたちの，固い構造になれば，それは分類表になりおわる。われわれが意図するのはそうではなく，ある上部概念を埋めるべき，概念と概念のバランスともいうべきものである。たとえば図 1-b において，上部概念（あるいは分類枠）W_a, W_b, W_d では，その構成概念 w_1, w_2 … が，一応枠内の大きなスペースを埋めている。これにたいして，W_c, W_e, W_f はそうではない。したがって W_e 中にXという概念内容が出現したとき，それが当然ふくまれるはずの w_7 を示す索引語が辞書中に見あたらなかったために，作業者はうっかりとこれを，不適切な w_6 でインデックスしてしまう，という可能性がある。

この例は，不適切な，あるいは誤った索引化のひとつのケースにすぎないが，作業者の判断に任せられた無統制の出現語主義にたいしては，出現語による概念構造があるかたちをなした段階で，たとえば上の例でいえば，W_e 中に w_7 を追加する，といった方法での，主として概念の補足というかたちの調整はあってよい。

われわれの検索語辞書の場合はことに，対象が標本，映像もカバーするのにたいし，出現概念を得る〈衣料情報レビュー〉が，文献のみを対象としているという喰違いもあったので，相当の補足，調整を必要とした。写真1のような例のためには，**EP** 320 の概念が必要となる。

概念の補足のために本辞書で直接利用したのは，689 頁にあげた 2. 3. 5. の 3 種の索引である。2. 3. をえらんだ理由は説明するまでもなかろう。5. は，図書中にあらわれた服装関係の図，写真をインデックスした，例の少ない索引書である。直接利用したという意味は，たとえば LC の subject heading に存在する概念は，〈衣料情報レビュー〉における出現概念と全く平等に，同義語群に加え，あるいはそれのみに対しても，実用概念とみなして，検索語（記号）を与えた。さらに，2. 3. 5. にも存在しないが，当然そこに加えられてよい概念というものがある。前述の **EP** 320 はその例である。ただしここでくりかえし強調しなければならないのは，“当然そこにあってよい”概念があまりに強調されれば，それはとりもなおさず図 1-a のブロック構造となる。われわれが

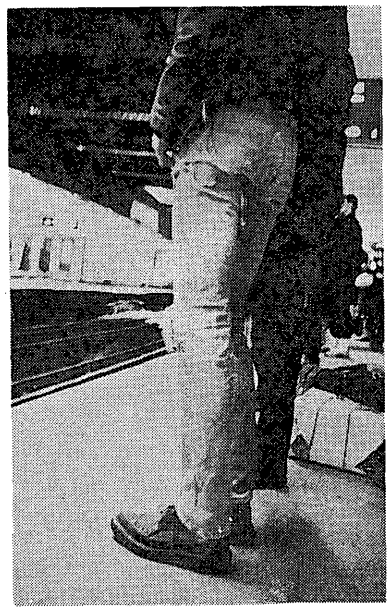


写真1　裂けた衣服
ロンドン　1985. 1

表3　衣服標本属性表

F．構造技術マーク

011.　切りかえに特色あり
012.　ウエストラインが切りかえ線によって区分されている
013.　袖山線に切りかえあり
02.　まちを用いている
03.　縫目に特色あり
032.　ミシンを用いて縫った箇所あり
04.　重ね縫い――全体あるいは一部分で二枚かそれ以上の布を縫いあわせている接着もふくめる
05.　ネックオープニングのタイプ*
06.　カラーのタイプ*
07.　袖つけが，セットイン以外*
081.　曲線裁ちの部分あり
082.　脇線が曲線裁ち
083.　肩傾斜あり
09.　ダーツあり
101.　袖山以外にいせ，のばしあり*
102.　袖山にいせあり*
111.　袖山・ウエスト以外にギャザー，タック，プリーツあり
112.　袖山にギャザー等あり
113.　ウエストはぎにギャザー等あり
12.　布はし（袖口・裾など）の処理・縫いしろに特色あり
13.　布をつまみまたはたたんで縫いつけた部分あり
14.　布目の扱いに特色あり
151.　身頃がうちあわせ
152.　うちあわせの身頃に留め具あり*
16.　形を支持するための別の構造体をもつ

――そして件名の歴史が“出現”に執着してきたのは，このような分類的ブロック構造に拘泥しないところに，しばしばより身近で，より有用な主題概念が得られたためであった。したがって，“当然そこにあってよい”概念についての判断は，いくつかの権威ある資料を参考としつつも[6]，欧文文献，ポジフィルムの分析，および服装情報サービスの，ドクメンタリストとしての現場の経験が優先したのである。

標本資料については，大丸がすでに発表した属性コード表を，そのまま転用するのが当初の計画だった。しかし結果は，712 頁に示した **EP** 2 項を，属性表F項――構造技術マーク（表3）と比較してわかるように，かなり違うものになっている。そ

6）参照の分類，索引資料はつぎのとおりである。Harmuth, Louis 1921;　Huenefeld, Irene Dennington 1967;　Gibbs-Smith, Charles Haward 1936; 被服製図編集委員会（編）1978;　Nienholdt, Eva; Wagner-Neumann, Gretel 1965;　Buck, Anne 1982;　日本図書館協会件名標目委員会（編）1983;　日本ドクメンテーション協会（編）1984

の主な原因は，**EP** 2 項における諸概念が，その出現頻度だけにもとづいて単純に羅列したのにたいし，属性表の場合は，もともとの根拠はおなじ〈衣料情報レビュー〉なのであるが，これを民博の全衣服標本資料の細部的チェックと並行して，問題点として整理し直したためである。**EP** 240 以下の出現語をみると，240 表地；241 裏地，裏；242 袷仕立；243 芯地，芯；244 接着芯地となっている。属性表作成にあたって依拠した資料も，ほぼ同じものだったはずである。しかし実際に事例としての標本を手にして，ひとつひとつの言葉を考えはじめると，居敷当や肩当は裏とどう違うのか，見返しはどうか，芯とはどんな機能をさし，どんな機能をふくめないか，などといった議論が百出し，結局，属性表では，F-04. のように，具体的ではあるが，通念的な表現を一切避ける表現をとった。検索語辞書においては，出現語主義というたてまえの占める程度において，いわば突き放した，そういう意味での客観性があり，それはべつの見方をすれば，出現数という事実に下駄をあずけた，一種の無責任さ，ともいえる。まえにのべたように，われわれは索引作業に主観的判断のはいりこむ余地をできるだけ減らす方策のひとつとして，出現概念の分布地図に，多少の調整を行う必要を主張する。しかしそのことと，属性表が検索語辞書と，ここまで別のものになった理由とは違うようである。属性表は標本チェックのためのマークポイントであって，現実に世界中の衣服標本が技術者の手の中にある。その技術的関心が，出現語の“無責任な”羅列を，より納得のできる内容へと，展開させてゆくのである。展開には方向がある。属性表の F 項を観察すると，この構造技術マークの構造，のなかには，具体的な関心の方向をしめす，技術の思想がみとめられる。

検索語辞書へ，直接転用を意図して作成した属性表であったが，結果的にはこれはこれで独り歩きをすることになった。しかし属性表から辞書へ，コンピュータプログラム上での記号変換を行うことは，ある程度まで可能である。

標本資料について，技術の思想といったのであるが，映像資料についてもまた，言語的概念とはべつの，意味構造があるはずである。この領域に関しては，コンピュータによる図形認識が，重要な課題のひとつとなると思うが，われわれにとって経験の乏しい分野であるので，将来の課題としたい。映像（造形）資料の索引として利用した〈Costume Index〉は，その製作にあたって服装専門家の直接関与がほとんどなかったらしく，いわゆる研究者の二次資料ではなく，ドクメンタリストの二次資料であったせいもあってか，広般囲に利用されたようである。しかし利用対象が公共図書館を利用する，おそらくハイスクールの生徒が中心，ということもあって，われわれがそこから得なければならなかった主題概念は，それほど多くはなかった。

OCMの扱いは，われわれの検索語辞書においては，以上の資料とはいくぶん違っている。われわれの基本方針の中に，4. 民博のデータベースとしてのぞまれる条件をみたすこと，という項目があるが，（686頁）OCMの扱いは，その方針に沿うものである。

OCMの衣服に関連する項目は，28，29，30，とりわけ29の clothing に集められている。いまその29の中での概念の並べかたをみると，たとえば291 normal garb をさらに細区分して，

—01　nude and covered parts of body
—02　services of clothing (e.g., protection, vanity, modesty)
—03　standard costume
—04　age and sex differences
—05　seasonal variation
—06　styles and fashions
—07　description of individual garments
—08　means of attachment and suspension (e.g., belt)
—09　headbands

の如くにする。この概念構成がどんな見方からしても，normal garb という上部概念の，ブロック分割的な分類でないことはあきらかであり，民族誌的な調査，研究の実体験からうまれた，その意味においては広義の出現主義によった，件名法である。われわれはこうした特殊な観点をもつ概念構成を，LC や国会図書館件名表のような没個性的な一般件名表，また服装専門検索語辞書のような，これは全く別の観点にしたがった専門件名表の概念と混用することに，多少の躊躇を感ずる。そこで，OCMの概念を服装専門検索語辞書に直接利用することは断念し，しかし辞書の検索語記入とは別個に，OCM 記入を行うこととした。尤も，OCMの服装関連概念のほとんどは，実際には検索語辞書の概念のうちのどれかと共通している。したがって辞書中に，ある同義語群の最後に OCM の標数と索引語を加えておけば，索引作業においてはほとんど自動的に OCM 記入を行うことができる。

例　**DP** 019　製品開発；新製品；**176** innovation

なお，この例が示すように，われわれがいう共通する概念とは，必ずしも28～30項中にのみあるわけではない。服装を物質文化の中の一領域としての近視眼的なとらえかたをするのでなく，社会，文化的事象のあらゆる問題との，相関の可能性を，われわれは前提とする。とすれば，逆説的ではあるが，コスチュームデータベースを利用

する検索者にはむしろ，29項は不必要とさえいいうるかもしれない。

4. 検索語辞書における概念構成の一般論

概念の類縁関係の表記法についての一般論を，ここに論ずる必要はないと思うから，本節では，われわれの検索語辞書の，直接の基盤となるべきシステムを，検討する。

概念の類縁関係の表記，とくに参照のありかたは，その検索語辞書の規模と，検索者の能力をどのあたりに設定するかで，変ってくるものである。その点の考慮のうえでわれわれが参考としたのは，〈Costume Index〉であった。

件名法は分類法とはちがうが，それにもかかわらず，件名も局所的な分類構造，すなわち BT と NT とでかたちづくられる三角構造をもつのがふつうであり，有用であることが多い。しかしこの局所分類構造も，あまりに多用し，また複雑なものとなると，かえって件名の概念列自体の“非論理性”が問題となって，件名法の長所が崩れてしまう危険がある。服装関係資料を豊富に所蔵している，パリのフォルネイ図書館の件名目録の場合，その見出し語以下の構成は，つぎのようになっている。

A（見出し語—item）＋B, C…（限定語）＋X（地理区分）＋Y（時代区分）

問題は限定語 B, C …であって，見出し語が必ずしも item とはかぎらず，限定語の中にも服装の種類を示す概念があるので，その判断の必要のために，検索能率が落ちる結果になる [高橋　1981: 24, 25]。

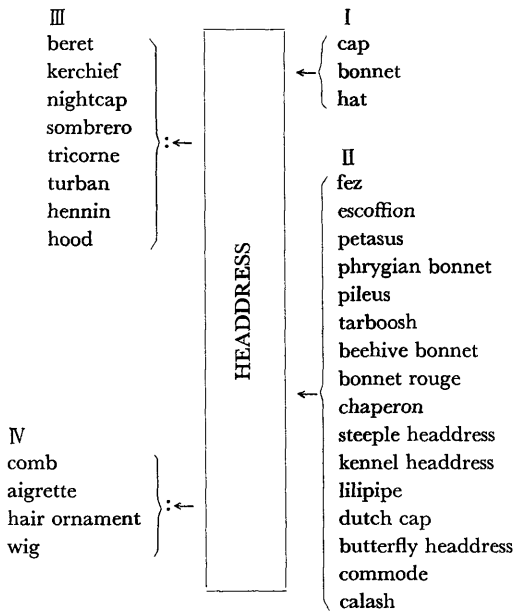
この点〈Costume Index〉の場合，原則として見出し語の NT は，地理区分と歴史区分のみであるため，はるかに検索能率はよい。NT を作っている例外は，Fancy and stage costume (NT は character), Doll (同 character), Military costume (同 部隊), Monks (同 sect), Biblical costume (同 character), Archibishops (同 sect), Dancer (同 tribe), Ecclesiastical costume (同 church), Musician (同 tribe), Naval costume (同 特殊グループ), Shakespearian costume (同 character) のみである。これらをみると，Naval costume 以外の NT はすべて固有名詞であり，Naval- の場合も，Naval Reserve, Nurse corps など，きわめて特殊なものである。すなわち〈Costume Index〉の局所三角構造は，その下位区分を総括する，上位の普通名詞（doll, dancer など）の方が周知性がつよく，検索者がそれを経過して個々の character に到達することになんの問題もありえないような，ごく少数の見出し語にかぎられている。

それが見出し語に存在するのか，あるいは他の見出し語の NT に入っているのか，

という迷いは，検索者にとってはつねに迷惑なものであり，また『を見よ』参照の増加の原因となる。服装専門検索語辞書では，原則として索引語の NT はできるだけ避けるようにつとめた。そしてその例外も〈Costume Index〉とおなじく，索引語を経由して検索されることが自明の，固有名詞にかぎった。尤もこの区別は，図書形態の辞書と，機械およびカード検索とでは扱い方がちがうわけである。機械およびカード検索では，BT も NT も同じ水準にならぶので，たとえばカードを検索するとき，紳士服メーカーも，その NT のメルボ紳士服も区別なく，辞書体排列であればそれぞれの S, M, 部分に並ぶ。ただし紳士服メーカーのカードにおいては，NT であるメルボ紳士服への，『も見よ』が記入される。

つぎに，類縁概念の参照関係についてのべる。〈Costume Index〉における参照法を，Headdress を中心において整理すると，表4のようにあらわすことができる。Headdress を囲む類縁語は，これを I.～IV. の4群にわけることができよう。I. は同義語群である。これらは単純に headdress へ『を見よ』参照される。ただし，ここでいう同義語とは，索引語整理上の同義語であって，共通の資料をインデックスすることが便利である，という意味である。II. は，これも一種の同義語なのだが，headdress の中の，地理＋時代区分への『を見よ』参照である。これは三角構造のところ

表4　〈Costume Index〉における類義語の参照構造



（注　←『を見よ』参照，:←『も見よ』参照）

でのべた，ある普通名詞の NT である方が，一般的知識からみて検索能率のよいような，特殊な固有名詞と同様の場合である。このグループは，〈Costume Index〉の利用者の条件から想像して，こうしためずらしい固有名詞から検索する人は少ないと，判断されたものであろう。III. は Headdress にふくまれる，NT 的な概念への『も見よ』であって，一部は相互参照になる。図 1-b でいうなら，W_a から，w_1〜w_5 への参照である。IV. は，Headdress の NT 性もいくぶんかはもちつつ，また他の BT の NT 性ももつという，いわば従兄弟的関係であって，図 1-b の W_a と w_5，あるいは W_e と w_6 の如き関係である。

以上の参考事例を勘案しつつ，われわれは服装専門検索語辞書のもつ条件を，あらためてつぎの如く確認した。

1. すべての概念が，ファセット分類の論理的構造の中で，枠づけられていること。
2. 資料の形態が，文献，標本，映像（造形）にまたがっているので，概念の同義語性は，比較的ゆるいものにしておいた方が，実際的であること。
3. 全検索語数は，約2,000ていどにとどめること。ただし固有名詞は別である。
4. 検索は原則として，端末，カード方式とも，専門検索者または研究者が行うこと。

このような立場から，われわれは辞書の作成に手をつけたのであるが，次章において，その具体的構成をのべる。

5. 辞書の具体的構成

われわれの作業は，8年間用いてきた服装専門分類表の見なおしからはじまった。この分類表への批判のなかで，item 面の各メンバー概念に交錯があるという指摘のあったことは，前述したが，それは区分に優先順位をつけることで解決される。われわれが当初衣服の TPO 別を顧慮しなかったのは，このような区別は衣服がもともともっている性質ではないので，分類作業者を迷わせるわりには，服装研究上それほど有益ではないと，判断したのである。しかし“物”を離れた服装研究の方面からいえば，着用目的や着用者の問題は，もっと尊重されねばならないということを，われわれの経験は教えてくれた。それはあるいは，家政(工)学的衣服研究から，民族学的，ないし人間論的服装研究への，研究動向の一般的展開を，われわれが感じとったためかもしれない。これまでの分類表でも，**R〜U** 項は着用者と TPO にかかわるメンバーだったのだが，新しい分類表では **U** 項をとくにその関連概念全般にあてた。かつ

U 項は，これをそのような概念グループのためにふりむけた，もっとも大きな動機を考慮し，着用者，着用目的の個々の概念は，ほぼ完全に，OCM に準じている。

Y 項は新しく設けた項目で，flow-step 面のすべてに亘り，その機能のための広義のツールをここにいれる。**E**—製作プロセス一般と組み合わさった **EY** 0 項では工場を，**D**—イラストレーションと組み合わさった **DY** 0 項ではポスターカラーや筆を。

こうして改められた item 面は下記のとおりである。

P　総　記

Q　布　地

R　メンズウェア

S　ウィメンズウェア

T　子供服・ベビー服

U　衣服の種別

第1区分　衣服の形態・着装部分

第2区分　着用者

第3区分　着用目的—TPO

V　和　服

W　装身具

第1区分　装身具一般

第2区分　宝飾品

第3区分　からだ，衣服に補助的につけるもの

第4区分　かぶりもの，髪飾り

第5区分　手に持つもの，はめるもの

第4区分　はきもの，脚につけるもの

X　ヘア，化粧

Y　設備，装置，機器，用具，薬品等

つぎに flow-step 面であるが，このメンバー列にはとくに大きな変更はない。ただし，これまで思想，美学，倫理，社会といったものがほとんど **AP** 項にいれられ，投げこみ箱化していた状況から免れるため，これらをできるだけ **D** 項にまわし，そのために **D** 項を5区分した。

A　総　記

B　流通をコントロールする機関

第1区分　消費者運動に関連するもの

第2区分　行政，法規，さまざまのかたちの社会的強制力

第3区分　教　育—女性の職業教育との関連で，女性問題はここにいれる

第4区分　情　報—情報機関，研究組織，博物館等

C　流　通

第1区分　流通一般，景気，物価など，国家的な，あるいは業界規模の経済問題

第2区分　企業経営一般，労働問題—製造，小売業等に区分されないもの

第3区分　中間流通

第4区分　物　流—運輸，倉庫

第5区分　貿易，国際関係—商業以外の文化的交流もふくめる

D　デザイニング

第1区分　デザイニングシステム，技法（衣服の場合，型入れ以後は **EP** 3にいれる）

第2区分　美，スタイルの原論的研究，心理，習俗，象徴論

第3区分　身体に関する研究，運動，体型，生理，環境的条件，sexology

第4区分　着装の態様，生活と衣服

第5区分　プレゼンテーション

E　生産技術，工業

第1区分　製造工程一般—既製服はここにいれる

第2区分　布の表面的特性—織り，染め，色，模様，ステッチなどの加工

第3区分　立体構成のための技術

第4区分　保存，手入れ

第5区分　製造業—業種と個別企業名

F　小　売

第1区分　小売業一般・経営システム，マーケッティング，業種と個別店舗名

第2区分　販売技術

このようにして決定された，新しい専門分類表を，その枠構造のみから示すと，表5のようになる。flow-step と item を組み合わせて，たとえば **DT** 3であれば，そこには子供服の着方に関する資料を，排列することができる。ときとして，いくつかの区分をまとめて組み合せているのは，資料数または出現概念数が少ないためである。ひとつの枠，たとえば **DV** 3の中には，00から99までの概念が収容でき，必要に応じて小数点以下で細区分も可能である。

分類表の見直しを終えたわれわれのつぎの作業は，これら全部で248の枡目の中に，

表5　新服装専門分類表の枠構造

	ITEM・FLOW-STEP	A	B				C					D					E					F	
		総記	消費者問題	行政・法規	教育	情報	一般経済・流通	経営・労働	中間流通	運搬・倉庫	国際関係・貿易	デザイニング・システム・技法	美についての理論・心理	身体・生理・環境性	着装法・衣生活	プレゼンテーション	製造工程一般	表面特性	立体構成技術	保存・手入れ	製造業	小売業一般・経営システム	販売技術
P	総記	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1
Q	布地	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1
R	メンズウェア	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1
S	ウィメンズウェア	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1
T	子供服 ベビー服	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1
U	衣服の形態 着装部分	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1
	着用者	1	4	5	6	7	5	6	7	8	9	5	6	7	8	9	5	6	7	8	9	2	3
	着用目的 T P O	2																					
V	和服	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1
W	装身具一般	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1
	宝飾品	1																					
	身体に補助的につけるもの	2																					
	かぶりもの 髪飾り	3																					
	もちもの	4																					
	はきもの	5																					
X	ヘア，化粧	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1
Y	設備，装置，機器，用具，薬品	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1

出現概念を“置いてゆく”ことであった。いうまでもなく，われわれが手にしている出現概念は，服装専門分類表を念頭においてつくられたものではない。またもし，これらの概念のすべてが，分類枠のなかに，整然とはめこまれるようであれば，索引語としての意味もない。ある概念は，その大部分は **DV** 3 に比定されながら，同時に **DV** 2 や，**BV** 3 にも関係しているかもしれない。われわれはその概念が，**DV** 3 に足がかかっていると見て，その検索語を与えるのである。“置いてゆく”といういいかたをしたのは，その意味である。

ところで，この段階で確認しておかねばならないことは，今回われわれが利用した出現概念は，じつはキーワードとしては，それほど信頼度の高いものではない，という点である。

LC 等の利用資料を別とすれば，われわれが依拠したのは，既述（685 頁）のような範囲での，〈衣料情報レビュー〉のタイトル中の概念と，執筆者の送ってきたわずかなキーワードである。

タイトル中の概念については，1985年 4 月までに入力ずみの 6,000 論文から，頻度順の出現単語を検索したところ，“の”（5,733）にはじまる，約 40,000 語を得た。漢字では“研究”（498）が最高であった。この40,000語の⅔は頻度 1 であったのでこれは捨て，頻度 2 以上の語のなかから，想像力の可能なかぎりの広範囲に，服装関連概念として使えそうな，1,284語をぬきだしたのである。問題は，なにをもって“語”とよぶか，である。いま仮りにファッションデザインという語がでてきたとき，これはファッションでも，デザインでも，またファッションデザインでも，いずれも重要な服装関連概念となることができる。しかし索引作業者のしごとは，この場合ここから 3 個の概念をとりだすことではなくて，執筆者がどの概念を用いようとしたかの，意図を知ることである。その意図が理解できれば，分ち書きの切り方も答えが得られる。したがってタイトル全体が示している，執筆者の意図を分ち書きにも示そうというのであれば，2 文字で切るとか，1 文字は切り離さないとかいう，機械的法則は避けなければならない。しかし現実には作業者にそこまで要求するのは酷であるから，そうであれば，語は短かく切って入力した方が，検索の時間的能率は低下しても，再現率は高まるであろう。

一方今回のわれわれの作業にとっては，この，ほとんどが 2 語単語に分断された概念は，はなはだ扱いにくかった。標準と寸法とが別々に頻度数にあらわれる。標準などという語は，どんな語とも結びつく，しかし標準寸法となると，これは重要な特殊概念である。結局われわれは，多くの疑わしい 2 語単語について，原論文の書誌記述

を検索して，そのほんらいの概念をたしかめる努力はしたが，十分だったとはいえない。そのような事情から，検索語辞書の（　）内の出現数は，あくまでも概数である。

それぞれの枠内におかれた概念は，まず同義語にグループわけされた。ここでいう同義語とは，検索者の目的に沿った，あるゆるい範囲のなかに入れ得るもの，ということである。検索語辞書を作ることは国語辞典を作ることではないので，いたずらな厳密主義は，検索者にとってなんの利益にもなるまい。これらの同義語は，すべて検索語に導かれる。原則として，われわれは代表語の必要をみとめない。ただし，カードの辞書体配列の場合，資料のファイルは検索語の記号・数字順で配列し，索引カードを辞書体で別につくる（衣料情報室の当初の方法）ことは，整理者にとってワンプロセス余分の手間を要するのと，固有名詞の検索において，検索者にも面倒なことから，よい方法を検討中である。

NT を展開させることに関しては，われわれは消極的である。コスチュームデータベースの検索の場合，時代，地理区分，助記（資料の外的形式），OCM，使用言語，等は別項に入力され，相乗検索が可能なので，その点の NT は不必要である。服装関係ではとくに固有名詞(デザイナー名，ブランド名，商品名，企業名など)が重要であるが，それはたとえば該当普通名詞 **EP** 302（アパレルメーカー）の下に，**EP** 302.0 と，.0によって指示する。

なお検索数字と，概念群のあいだに，・を付したものは，ユニターム検索のための要素概念[7]であって，そのほとんどは抽象語であり，ここには独自の資料は排列されない。

必要な概念であると考えられるにもかかわらず，たまたま出現しなかった概念にたいしては，[　] 内にアスペクトを示し，その検索語をつくった場合が少数ある。出現主義と，論理性志向のジレンマについてはすでにのべたが，こうした措置をしたことの理由のひとつは，上記のような理由から，〈衣料情報レビュー〉の検索による出現語に，最終的な信頼がおけないこともあった。[　] 内のアスペクトは，出現語だけでは意味がはっきりしない場合もあれば，つまりほんらいのアスペクトとして，用いた場合ももちろんある。

参照関係についていえば，〈Art Index〉における，I.（同義関係）はすでに説明した。II.（固有名詞，あるいはきわめて特殊な普通名詞を，別の検索語の中の NT に導く）は厄介な問題である。われわれはまえに，検索語辞典は国語辞典ではない，と

7) 要素概念という言葉は耳馴れないかと思うが，これは高橋達朗がいう単純概念にあたるものである [高橋　1969: 34–36, 61–68]。

いった。それとあわせてここで，検索語辞典は，百科事典，ないしは専門語辞典でもない，といわざるをえない。われわれが検索者にあるていどの専門家を求めるのは，検索者が他の適当な二次資料を併用できる能力を期待するためでもある。III.（NTへの『も見よ』参照）本検索語辞書では，“NT あり”の記号を付すること，また企業名等については，既述のとおり，.0 の検索を習慣づけるとよい。IV.（類縁語への『も見よ』参照）なにが類縁であるかの判断は，検索者が専門家であれば，あるていどは任せられるものである。服装検索辞書の場合，ともあれ分類表の論理的構造の中にいるのであるから，辞書をできるかぎり一覧性にちかいかたちで，端末，あるいはカードキャビネットの近くに備えつけておけば，この種の参照がなくても，それほどの不親切とはいえないであろう。そのために，各枠内の——たとえば **DP** 3——概念群は，大体似たものを近いところに集めた。番号が飛び飛びになったのは，そのためである。しかしそれが可能だということは，辞書のスケールの問題である。全体で約2,000 概念というスケールであれば，検索者が分類枠のストーリーを追って，類義語を探すことは，それほどの手間ではないとおもう。

検索語辞書は対象とする資料の自然増にともなって，次第に語数をふやしてゆくものである。表 6 として末尾に提示するものは〈衣料情報レビュー〉の過去 8 年の実績を中心としての，現在における検索語の構成案である。

謝　　辞

本稿の執筆にあたっては，とりわけ本館情報管理施設の皆さんに，なにかにつけてお世話になった。文献の分ち書きに関しては，文献図書係の松沢裕子氏にお教えいただいた。また NCC の瀧山光男氏，山田正博氏にも，お忙しいところ，たびたびご面倒をおかけした。なお〈衣料情報レビュー〉の編集発行までをふくめれば，大阪樟蔭女子大学の学園当局，卒業生たち，とくに中島馨子さんの協力も忘れることはできない。

文　　献

Buck, Anne
1982 *Waffen-Und Kostumkunde.* München: Deutscher Kunstverlag.

大丸　弘
1977a「資料構成論の前提としての大学における服装教育の検討」『大阪樟蔭女子大学論集』14: 73–85。
1977b「服装教育の方法論的課題」『衣生活研究』4(5): 10–15。
1984a「服装情報サービスの10年——MCD への過程——」『衣生活研究』101: 58–61。
1984b「衣服標本属性論——MCD 標本シソーラス——I　固有属性」『国立民族学博物館研究報告』9(3): 533–570。

GIBBS-SMITH, Charles Haward
1936 *Costume Bibliography of V. & A.* London: Victoria & Albert Museum.
HARMUTH, Louis
1921 *Fairchild's Illustrated Women's Wear Code.* New York: Fairchild Publishing Co.
被服製図編集委員会（編）
1978 『JIS による被服の製図と用語集』森北出版株式会社。
HUENEFELD, Irene Pennington
1967 *International Directory of Historical Clothing.* Metuchen, N. J.: The Scarencrew Press Inc.
衣料情報室（編）
1977 『衣料情報レビュー』No. 1　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
『衣料情報レビュー』No. 2　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
1978 『衣料情報レビュー』No. 3　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
『衣料情報レビュー』No. 4　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
1979 『衣料情報レビュー』No. 5　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
『衣料情報レビュー』No. 6　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
1980 『衣料情報レビュー』No. 7　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
『衣料情報レビュー』No. 8　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
1981 『衣料情報レビュー』No. 9　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
『衣料情報レビュー』No. 10　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
1982 『衣料情報レビュー』No. 11　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
『衣料情報レビュー』No. 12　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
1983 『衣料情報レビュー』No. 13　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
『衣料情報レビュー』No. 14　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
1984 『衣料情報レビュー』No. 15　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
『衣料情報レビュー』No. 16　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
1985 『衣料情報レビュー』No. 17　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
『衣料情報レビュー』No. 18　大阪樟蔭女子大学衣料情報室。
LIBRARY of Congress
1975 *Library of Congress Subject Headings.* 8th edition. 2 vol. Washington: Subject Cataloging Division—Processing Department, Library of Congress.
MONRO, Isabel and Dorothy E. COOK
1937 *Costume Index.* New York: The H. W. Wilson Company.
森　耕一
1956 「主題の多面性——最近における分類法の発展——」『図書館学会年報』3(1): 43–52。
1957 「面に関する研究　I——物理学の場合——」『図書館学会年報』4(1): 19–31。
MURDOCK, George P. et al.
1982 *Outline of Cultural Materials.* 5th edition. Human Relations Area Files, Inc.
NIENHOLDT, Eva and Gretel WAGNER-NEUMANN
1965 *Katalog der Lipperheideschen Kostumbibliothek.* Berlin: Verlag Gebr. Mann.
日本ドクメンテーション協会（編）
1984 『UDC：国際十進分類法』日本ドクメンテーション協会。
日本科学技術情報センター
1981 『JICST 科学技術分類表』日本科学技術情報センター。
日本図書館協会件名標目委員会（編）
1983 『基本件名標目表』第3版　日本図書館協会。
PETTEE, Julia
1946 *Subject Headings: The History and Theory of the Alphabetical Subject Approach to Books.* New York: The H. W. Wilson Co.
坂本徹朗
1976 「情報検索」『日本図書館学講座』9巻　雄山閣出版。

高橋晴子（翠）
1977 「服装専門分類表の試み——大阪樟蔭女子大学衣料情報室の場合——」『ドクメンテーション研究』27(8): 369–374。
1981 「フォルネイ (Bibliothèque Forney) およびパリ市内の図書館，資料室における服装関連資料」『図書館界』178: 24–30。
高橋正明
1970 『科学技術情報の検索方法』東洋経済新報社。
高橋達朗，広田広三朗，坂本徹朗
1969 『情報検索の手法と機器』南江堂。
谷　昌博
1973 「主題索引付けの指標に UDC 分類とキーワードを併用する方法（金属工学文献を実例として）」『ドクメンテーション研究』23(8): 257–263。
WILLIAMS, James G., MARTHA L. MANHEIMER and Jay E. DAILY
1972 *Classified Library of Congress Subject Headings.* Vol. 1 Classified List: p. 250; Vol. 2 Alphabetic List: p. 486, New York: Marcel Dekker Inc.

表6　服装専門検索語辞書 (MCD シソーラス) '85

AP0

000 ◦衣服(141);被服(184); アパレル(148); 衣(112); 衣料(87); ウェア(79); 衣料品(59); 衣裳(46); 服(30); 衣装(13); コスチューム(7); 衣類(2); ガーメント(2); 服装(80); 服飾(130); 着衣(14); 装い(4); よそおい(2); **29** clothing; **30** adornment

001 ◦衣生活(12); 衣生活態度(1); 衣食住(1)

002 ◦ファッション(237); モード(11); ファッション行動(1); ファッション性(1); *ファッション; *fashion

003 ◦流行(34)

004 繊維品(12); 繊維製品(10); *繊維品

005 縫製品(13); 二次製品(2)

006 工芸品(2)

007 民芸(3)

010 服装研究(2); 被服学(16); 衣服研究(2)

011 ◦〔理論〕思想(5); 衣服観(1)

012 ◦歴史(45); 変遷(49); 服装史(18); 系譜(16); 推移(13); 服飾史(11); 変遷史(6); 文化史(5); 被服史(4); 歴史的考察(4); 歴史的展開(2); **17** history and culture change

013 ◦起源(14)

014 〔ファッションについての理論, 法則〕

BP0

000 ◦消費(50)

001 ◦消費者(116)

002 消費者問題(5)

003 消費者運動(2)

004 消費者教育(5); *consumer education

005 〔協同組合〕*consumers' league/cooperation

006 〔消費者団体または組織〕

007 〔消費者行政〕

010 消費科学(2)

015 苦情(18);消費者苦情(1); 苦情行動(1)

016 苦情処理(4)

017 〔消費者の被害〕被害(2); トラブル(2)

018 公害(2)

019 環境汚染問題(1)

020 賠償(2)

021 **752** bodily injuries

031 商品テスト(1)

032 使用テスト(1)

033 テスト機関(14); 商品テスト機関(2)

034 消費生活センター(4); 生活科学センター(2)

035 消費者情報(3)

040 *家計

BP1

100 〔衣服に関する行政, 法律一般〕行政(10); 政策(22); 制度(29); 立法(2); 条例(2); **67** law

101 規制(6); 衣服規制(2); 服飾禁令(2); *sumptuary laws

102 統制(2)

103 服制(3); 有職(2); *regalia

104 **703** discipline and moral

105 *heralds; *heraldic costume

110 独禁法(2)

111 品質表示法(2)

140 専売(2)

141 特許(4)

142 ◦登録(4)

143 ◦規格(3)

144 JIS (18); JIS 衣料サイズ(1)

150 通産省(5)

151 地方自治体(4)

160 衣料管理士(2)

BP2

200 ◦教育(73); **87** education

201 〔教育の制度, 組織〕 **871** educational system

202 服装教育(2); 被服教育(4)

203 デザイン教育(2)

204 色彩教育(1)

205 被服整理教育(1)

206 〔裁縫教育〕被服実習(2); *needlework-study and teaching

207 ◦実習(13)

208 家庭科教育(5); 家庭科(32)

210 〔技術教育〕 *technical education

211 〔職業教育〕ビジネス講座(2); * vocational education; **874** vocational edu-

cation
213　女子教育(4)
215　小学校(1)
216　中学校(1)
217　〔高等学校〕
218　短期大学(3)
219　〔大学〕
220　女子大学(3)；女子大(3)
221　裁縫学校(1)；*sewing school
225　家政学部(2)；家政科(2)
226　家政(5)
230　〔社会教育〕
231　〔家庭教育，家庭でのしつけ〕
232　〔日常生活，清潔，性のしつけ，訓練〕**515, 863** cleanliness training; **864** sex training
233　〔道徳教育〕*moral education
240　教員(3)
241　教育実習(1)
242　教授法(2)
243　カリキュラム(4)
244　教材(39)；教材研究(5)
245　教科書(3)
246　学習意欲(1)
247　学習効果(1)；指導成果(1)
248　グループ学習(1)
249　実験授業(1)
250　男女共修(1)

BP3

300 ○情報(29)
301　〔情報システム〕
302　〔情報機関〕
303　海外情報(1)
305　〔整理法〕
306　分類(1)；分類尺度(1)
307　用語(4)；語源(1)；**104** glossary
308　名称(2)；各部名称(1)
309　字典(11)
　.1　日本語
　.2　英語
　.3　フランス語
　.4　その他の外国語
　.5　多国語
310　〔書誌，目録〕**11** bibliography
311　カタログ(4)
312　ダイレクトリー(2)
313　遺産目録；**428** inheritance inventory
314　統計(15)
315　ランキング(24)
325　〔情報ストック施設〕資料館(3)
326　図書館(2)
327　博物館(27)；ミュージアム(8)；*costume museum; **368** museum
328　美術館(14)
329　〔コレクション〕プライベートコレクション(11); *costume-private collection; *needlework-collection and collecting
330　研究所(3)
331　〔博物館学，技術〕*museum techniques
332　〔資料収集〕収集(3)
340　〔資料編，研究法〕多変量解析(2)；計量分析(2)；クラスター分析(1)；コンピュータ解析(1)；**12** methodology
341　〔資料としての文献あるいはこれに準ずるもの〕
342　〔資料としての造形・映像作品〕美人画(12)；服飾絵画(1)；*costume in art; *photography of the nude
343　〔標本資料，遺品，新発見資料〕
350　〔調査法〕
351 ○調査(149)；調査研究(8)；調査レポート(4)；実態調査(16)；現地調査(2)；面接調査(1)
352 ○アンケート調査(2)；アンケート(1)
353　意識調査(16)；*世論調査
354 ○〔市場調査〕*market surveys
360　*マスコミュニケーション
361　広告(8); CM(2)；*宣伝；*広告；*広報；*PR；***447** advertising
362　〔販売拡張〕**446** sales promotion
363　ポスター(1)；*posters/advertising
364　DM(2)
365　表示(15)；取扱表示(1)
366　絵表示(6)
370　雑誌(2)；服飾雑誌(1)
371　〔新聞の服装記事〕*newspapers-sections, columms
372　*ミニコミ
380　〔学術団体，学会〕家政学会(2)
381　〔研究分野〕家政学(21)；*home economics
382 ○研究会

383 ∘シンポジウム
390 技術交流(3)
391 ∘前年比(3)
392 ∘相関性(5)

CP0

000 流通(45)；繊維流通(2)；物流(5)
001 流通機構(2)；流通過程(2)；チャネル(2)
002 〔流通の合理化〕流通システム化(2)
003 ∘経済(23)
004 物価(3)
005 景気動向(2)；景況(9)
008 不況(15)；繊維不況(2)；大恐慌(1)；反動恐慌(1)
009 季節変動(1)；*clothing trade-seasonal variations
010 インフレ(3)
011 石油危機(1)
020 ファッション産業(12)；ファッションビジネス(2)
022 ∘業界(111)
023 〔業界の組織〕
024 会議所(2)
025 カルテル(3)
026 垂直統合(2)；垂直的統合(2)
027 川上(4)
028 川下(2)
029 金融(5)；金融政策(1)；地方銀行(2)
030 構造改善(17)
041 繊維取引(2)
042 需給(19)；*supply and demand
043 消費動向(1)；繊維消費(2)
044 需要(18)；ニーズ(10)；繊維需要(2)；需要量(2)
045 マーケッティング(48)
046 市場(96)；市場展望(3)；市場動向(2)；市場構造(1)；新市場(2)；*markets
047 市況(2)

CP1

100 ∘企業(136)
101 繊維産業(57)；繊維企業(2)；繊維業界(5)
102 経営(59)；経営戦略(3)；経営論(3)；経営史(1)；*clothing trade-management；*needlework industry and trade-management
103 〔創業，創業者〕創立事業(1)
104 地域産業(1)
105 大手(22)
106 中小企業(5)
107 零細経営(2)
108 下請(2)
109 同族的企業(1)
120 決算(2)；財務(2)；*clothing trade-accounting；*clothing trade-finance
121 売上(5)；売上高(12)
122 経費(2)；コスト(7)；支出(2)；*clothing trade-costs
123 収益(5)；収益力(3)；増益(2)；増収(2)
124 利潤率(1)；純利潤率(1)
125 帳票類(2)
126 資本(8)；資金(2)；商業資本(2)；商人資本(1)；営業資金(1)；自己資本(1)；借入資本(1)；地場資本(1)；資本類型(1)
127 株(10)；投資(8)；資本家(1)
128 注文(2)；受注(2)；オーダエントリ(2)
129 仕入れ(4)
130 価格(19)；価格支持(1)；上代(1)；*price policy；*clothing trade-prices；*price discrimination；**435** price and value
131 税(12)；申告(9)；*clothing trade-taxation
140 営業(10)
141 ヒーブ(4)
142 省エネルギー(4)；省エネ(3)
145 **427** renting and leasing
150 雇用(1)；労働力(1)；**464** labor supply and employment
151 労働(12)；労働問題(1)
152 労務管理(2)；*clothing trade-labor productivity；*sweating system
153 〔労働条件〕；*clothing trade-job discriptions
154 〔労働衛生〕*clothing trade-hygienic aspects；*textile industry and fabrics-physiological aspects
155 賃金(9)；賃上げ(2)；*wages-clothing workers
160 家内労働(2)

161　婦人労働(3)；女性労働(1)；女工(1)
162　児童労働(1)
170　〔労働者の組織〕*trade-union-clothing workers; *collective labor agreements-clothing industry; **467** labor organization
171　〔労務指導〕*clothing trade-vocational guidance

CP2

200　流通業(5)
201　問屋(17)；都市問屋(1)；卸売業(9)；卸売(6)；卸商(2)；*warehouse; **442** wholesale marketing
202　商社(17)；商事(3)
203　買継商(1)；*brokers
204　バイヤー(2)

CP3

300　〔運輸一般〕
301　出荷(2)
350　〔倉庫一般〕
351　在庫(4)

CP4

400　貿易(38); 繊維貿易(4); 貿易動向(2); 三角貿易(1)；水平貿易化(1)；垂直貿易(1)；貿易史(1)；**439** foreign trade
401　輸入(25); 輸入問題(2); 直輸入品(2); *import quotas
402　輸出(51)；*export premium
403　国際市場(2)
404　〔海外との交渉，接触〕外交(2)
405　〔海外との提携，協力〕海外進出(2)
406　国際的分業(2)
410　為替(2)；円高(2)；**43** exchange
411　関税(3)
430　舶来好み(1)
431　オリエンタリズム(1)
432　ジャポニズム(1)
433　洋装(5)；洋装化(2)
434 ∘伝来(7)
440　伝統産業(4)
441 ∘伝統(41)；在来型(2)
460　先進国(3)

DP0

000　デザイン(130)；デザイン論(2)；意匠(11)；*design; design, decorative
001 ∘造形(13)
002　基礎デザイン(2)
003　平面構成(4)
004　シンメトリー(2)
005　バランス(2)
006 ∘装飾；**301** ornament
007 ∘設計(40)
008 ∘構成(59)
010　服飾デザイン(4)；衣服設計(9)；服装デザイン(2)；服装造形(4)；被服意匠(2)；被服設計(3)；被服造形(1)；ファッションデザイン(1)；*costume design
011　デザイナー(33)；デザイナ(14)；作家(13)；designers(11)；*デザイナー；*costume designers
012 ∘コンセプト(13)
013 ∘ビジョン(10)
014 ∘イメージ(15)；image(4)
015 ∘アイデア(7); イデア(3); **822.03** ideas about form, color and sound
016　オリジナリティ(2)
017　商品動向(2)
018　商品企画(9)；マーチャンダイジング(20)；MD(5)；製品政策(5)
019　製品開発(1)；新製品(1)；**176** innovation
020 ∘予想(21)；予測(3)
021　ブランド(36)；銘柄(2)；*銘柄
022　差別化(5)
023 ∘サイクル(3)
024　多様化(9)
025　trends(4)；**178** socio-cultural trends
026　商品名(1)
030　ファッションイラストレーション(4)；イラストレーション(3); イラスト(3); スタイル画(1); *スタイル画; *fashion drawing
031　モチーフ(1)
035　サイズ(55)；寸法(45)；衣服寸法(3)；計測値(3)；構成寸法(1)；身体計測値(1)；**804** (**80**) weight and measure
036　標準寸法(1)
037　計測(27)；計測法(4); 測定(10); 身体計測(7); 採寸(2), 写真計測(2); *clothing and dress measurements; *clothing and dress measurement-tables,

calculations, etc.
038 〔部分的計測および計測値〕丈(2)
039 モアレ(13)；モアレ法(6)；モアレ写真法(2)
040 モデリング(3)
041 パターン(63)；パターンメーキング(5)；作図(7)；製図(4)；製図法(2)；平面製図(1)；割り出し法(1)
042 ∘図形(5)
043 図学(3)；幾何図学(1)
044 ∘線(8)；曲線(6)；被服構成線(1)
046 ∘形態(64)；かたち(13)；形態的因子(2)；フォルム(1)；形態変化(1)
047 形態安定性(3)；安定感(1)
048 フィット(1)；適合度(1)
049 運動量(2)
051 タイト(2)
052 ゆとり感(1)
060 ∘立体(8)
061 ∘カーブ(1)；複曲面
062 コーディネート(7)
070 見本帳
080 グレーディング(6)

DP1

100 スタイル(17)
101 ∘外観(2)；ルック(2)
102 ∘美(19)；美しさ(5)；審美性(1)
103 映え(2)
104 ∘美術(5)
105 服飾美(3)；服飾美学(2)
106 〔美の理想，規準〕美意識(7)；美的評価(1)；**517.03** esthetic ideals and principles
107 **531** decorative art
120 ∘感情(5)
121 感情効果(4)
122 ∘感覚(7)
130 錯視(3)；錯視現象(1)
131 官能(6)；官能量(2)
132 官能検査(8)；官能テスト(2)
133 イメージテスト(1)
134 嗜好性(3)；嗜好(2)；好み(1)；選好理由(1)；**517.04** canon of taste
135 視覚評価(4)
140 いき(2)
141 野暮(2)
142 シック(3)
143 おしゃれ(12)
150 心理(5)；被服心理(1)；深層心理(1)；*psychology; *social psychology; *mind and body/psychology; **15** behavior process and personality
151 色彩心理(5)
152 パーソナリティー(1)；**15**
153 連想(4)
154 女性羨望(1)
155 ∘意識(50)
160 *etiquette; *salutation; **562: 576: 644** etiquette
161 *courtship
162 *social ethics; *moralities
163 象徴性(2)；象徴(2)；シンボリズム(1)；*symbolism
164 記号(1)；記号学(1)
165 *totems; *totemism
166 *taboo
167 *social groups; **554** status, role and prestige; **56** social stratification

DP2

200 ∘人(13)；人間(12)
201 ∘身体(43)；人体(15)；生体(7)；体(4)；ボディ(4)；動体(2)
202 身体観(1)；身体像(1)
203 体型(84)；体格(10)；からだつき(2)
204 体型分類(8)；体型指数(2)
205 体型差(4)；体型変異
206 プロポーション(6)；全身比(1)；頭身比(1)；ハットウシン(1)
207 側面体型(2)
208 シルエット(3)；シルエット写真(1)
209 動作(27)；運動(15)；身体活動(2)；作業(3)；*身ぶり；*motion/physics; *motion/analytic mechanics; **201** gesture and sign; **15**
210 〔人体の部分的動作，運動〕上肢動作(2)
211 〔人体の部分〕胴(4)
212 姿勢(6)；*posture; *attitude (psychology); **516** postures
213 体表面(10)
214 体質(11)
215 〔衣服生理〕生理機能(1)；生理メカニズム(1)；*clothing and dress-phy-

siological aspects; **14** human biology
216 衛生(10)；衛生学(2); *環境衛生; *労働衛生； **515** personal hygiene
217 *color of man
218 体温(2)
219 体温調節(2)；体温調節機能
220 〔人体美〕*beauty, personal
221 *dynamics
222 体重(3)；標準体重
223 肥満度(3)；肥満(1)；肥満体型(3)
224 ローレル指数(2)
225 〔減食〕**262**
226 健康(1)；ヘルシー(2)
227 ボディコンシャス(1)
228 疲労(1)
229 成長（人体）(4)；発育パターン(1)；発育推移(1)
240 *睡眠；*sleep
241 沐浴習慣(2)
245 *nudism
246 〔裸体〕*nude in art; **291.1**
250 環境(17)
251 トポグラフィ(3)
252 気候(2)；**132** climate
253 異常気像(4)
254 温度(3)；気温(1)； **374** notion about heat and cold perception
255 湿度(1)；透湿性(1)
256 通気性(1)
260 人間工学(2)
261 〔からだを覆うこと〕カバリング(2)；**291.1**
263 保温(4)；保温性(5)；保温効果(1)
265 厚着・薄着(1)
266 着衣重量(2)；着装重量(1)；衣服重量(1)
267 *clothing, protective
268 *orthopedia
269 〔衣服圧〕快適衣服圧(1)
271 〔皮膚への影響に関するもの〕皮膚刺激性(1)；*皮膚障害
272 〔皮膚の衛生に関するもの〕*skin-care and hygiene
275 拘束性(2)
276 安全(5)
280 性差(2)；**838** homosexuality
281 *sexual customs; **83** sexology
282 *sexual ethics
283 *わいせつ；*sexual perversion
290 ヒステリー(3)

DP3

300 着装(34)；着方(6)；着用(30)；着ること(2)；着付(2)；着込み(2)；着こなし(1)；衣紋(2)；装い(1)
301 着心地(8)
302 着くずれ(3)
303 左おくみ(2)
304 関心度(3)
305 着用意識(1)；着用感(1)
306 実用性(4)
307 所持数(4)；被服所持数(1)；所持枚数(1)
308 所有率(2)
309 着衣量(1)
310 着用率(2)
311 使用頻度(2)
312 使用実態(1)
313 死蔵率(1)
314 被服計画(1)
320 風俗(22); 習俗(2); 習慣(1); *manners and customs
321 ライフスタイル(1)；生き方(1)；*conduct of life
322 ライフサイクル(1)
323 生活意識(3)
324 社会的環境(1)
325 文化変容(1)
326 〔ことわざ，ことば遊び，いい伝え，笑い〕
330 所得(1)；**434** income and demand
331 〔生活水準〕**511** standard of living
340 〔住居〕**342** dwellings
341 〔室内装飾一般〕**353** interior decoration and arrangement
342 〔家具，什器〕
343 〔照明，燈火〕**373** light
346 家族(4)
347 家事労働(2)；**356** housekeeping; **357** domestic service
350 〔都市と地方に関する問題一般〕都市化(1)；**91** town

DP4

400　〔展らん会〕展(12)；デザイン展(3)；衣裳展(2)
401　ショーイング(12)；*fashion show
402　コレクション(31)
403　モデル（ファッション）(4)；*model, fashion
404　マネキン(4)
405　コンクール(4)
406　キャンペーン(3)
407　見本市(2)

EP0

000 ∘製作(28)；生産(54)；製造(11)；メーキング(9)
001 ∘製品(50)
002 ∘技術(61)；技法(20)；技能(3)；テクニック(1)
003　技術開発(8)
004 ∘加工(24)
005　生産構造(2)
006 ∘試作(5)
007 ∘実験(26)
008 ∘機能(27)
009 ∘検査(6)；パッチテスト(1)
010 ∘扱い方(4)
011 ∘品質(35)
012　品質管理(14)；*clothing trade-production standard
013　品質評価(2)
014　品質保証(1)
015　〔不合格品〕
016　偽造品(1)
030　工業(119)
031　工業化(3)
032　工場制度(3)；工場制(1)
033　機械化(3)
034　動力化(2)
035　自動化(3)
036　手工業(1)
037　手芸(9)；手工芸(2)
038　工芸(10)；クラフト(2)
039　手づくり(1)
050　生産管理(3)；*clothing trade-quality control
051　作業環境(1)
052　操業短縮(2)
053　過剰設備(2)
054　家族制(1)
055　請負制(1)
060　既制服(18)；既製衣料(1)
061 ∘既製(22)
062　既制服化率(1)
063　プレタポルテ(14)；プレタ(3)
065　多角化生産(1)
070　ホームソーイング(2)
080　接着(17)
081 ∘分量(6)

EP2

200　裁縫(16)；被服構成(18)；衣服構成(9)；被服製作(6)；仕立て(2)；*裁縫 *dressmaking; **294**
201　被服構成学(12)；構成学(10)
202　裁断(4)；裁断法(3)；断変形(2)；せん断剛性(1)；*garment cutting
203　地直し(5)
204　布目(6)；地の目(1)；布目復元(1)
205　型入れ(6)
206　縫製(68)；縫い(14)；ソーイング(10)；縫製作業(2)；*sewing
207　手縫い(2)
208　〔ミシン縫い〕上糸張力(1)；動的上糸張力(1)
209　運針(13)
210　なみ縫い(4)
211　〔さまざまな縫い方，運針〕
212　縫目(15)；シーム(2)；縫目状態(1)；ミシン縫目(1)；*seams (sewing)
213　縫目強度(3)；縫目強さ(1)；縫目引張強さ(1)
214　縫目数(1)
215　縫目効率(2)
216　縫いずれ(3)
217　パッカリング(1)
218　八刺し(1)
219　縫代(8)；縫代始末(1)
220　〔へりの処理〕始末(2)；ヘム(1)；*trimming
221　きせかけ(1)
222　〔縫糸〕縫糸特性(1)；縫糸長(1)
223　針跡(1)
240　表地(5)
241　裏地(9)；裏(4)
242　裕仕立て(2)

243　芯地(16)；芯(3)；ストレッチ芯(2)
244　接着芯地(2)
246　補強(1)
247　補正(1)；補正法(2)
250　〔アイロンがけ〕アイロン温度(1)；*pressing of garments
251　いせ込み(3)；いせ分(1)；いせ込み性(2)；いせ込み分量(1)
253　ギャザリング(4)；ギャザ(2)；ギャザー(2)；ギャザー分量(7)；ギャザー効果(1)
256　切替え線(1)；ヨークの切替え位置(1)
257　ダーツ(6)；*darts
260　ゆとり(16)；ゆとり量(13)
262　〔ドレープ，ドレープ性に関して〕ドレープ係数(1)；曲面ドレープ(1)
263　フレア(2)
264　フリル(3)
266　スリット(2)
267　打合せ(1)
268　〔衿あき，衿ぐり〕ネック(2)；*decolletage
269　衿(12)；衿付け(6)
.1　シャツカラー(1)
.2　テーラーカラー(1)；テーラード(6)；背広衿(1)
.3　開き衿(1)
.4　折り衿(1)
.5　立衿(1)
270　袖(15)；袖型(2)；*sleeves；◎sleeves
271　〔袖つけの構造〕袖ぐり(3)；袖つけ(2)
.1　キモノスリーブ(1)
272　〔袖の長さ〕半袖(2)
273　袖山曲線(3)
280　身頃(5)
285　*pockets；◎pockets；◎watchfobs
286　インサイドベルト(2)

EP3

300　保存(2)；costume-conservation and restoration；**296**
301　収納(2)；収蔵(2)
302　被服管理(3)；*clothings and dress-care；**296-03**
303　被服整理学(7)；*被服整理
310　洗たく(4)；洗い(3)；洗濯(1)；クリーニング(8)；*洗濯；*cleaning；*laundry；**296.01**
311　ドライクリーニング(1)；ドライクリーニング性(2)
312　〔漂白〕* bleaching
313　*シミヌキ
xxx　〔アイロンがけ〕— ⇨EP250
315　〔洗たくによる障害〕洗濯変形(1)
320　〔痛み，古び一般〕布地の疲労(1)
321　汚れ(1)
322　黄変(1)
323　摩擦(4)
324　経年変化(2)
330　処分(1)
331　復元(9)
332　リフォーム(1)；更生(2)
334　〔補修〕繕い刺し(1)；*clothing and dress repairing；**296-02**
340　古着(2)
xxx　〔遺品〕⇨ BP 343

EP4

400　メーカー(65)；製造業(8)；メーカ(4)；産元(2)
401　繊維工業(17)；*繊維工業；**288**
402　アパレル産業(20)；縫製業(8)；アパレル企業(2)；既製服業界(2)；*縫製業；*needlework industry and trade；
xxx　〔洗濯業〕⇨FP088
xxx　〔洋服仕立業〕⇨FP083
413　小生産者層(2)
420　産地(96)；生産地(2)
421　産地報告(3)；産地レポート(2)；産地診断(2)
422　地場産業(11)；地場(23)

FP0

000　小売(22)；小売業(30)；リテイリング(1)；*retail trade
001　販売(42)；販売過程(1)；販売論(2)；**432** buying and selling
002　購入(9)；購買(6)；衣類購入(1)；衣類の購入(1)；*shopping
003　購入状況(1)
004　購買行動(4)；*shopping
005　試買(2)
006　購買決定(1)
007　顧客動機(1)
008　消費者志向(2)；消費志向(1)

009　消費行動(5)
010　顧客(3)；客(2)
020　商圏(6)；*sales/marketing
021　商店街(2)
022　ストアポジショニング(1)
023　買物距離(1)
030　小売店(9)
031　ショップ(28)；店(14)；店舗(8)；ストア(7)；商店(2)
032　ブティック(9)
033　専門店(53)
034　中小店(13)
035　生業的小規模店(2)
040　百貨店(36)；デパートメント(3)；*department store
050　量販店(5)
051　スーパー(4)
052　チェーン(3)；*chain-stores
053　VC(2)
054　市場(1)
060　老舗(9)
061　繁盛店(3)
062　ファッションビル(2)
063　ストア・イメージ(1)
070　POS(3)
080　衣料店(2)
081　ファッション店(3)
082　洋服業(2)；*洋服商
083　仕立業(1)
088　*洗濯業

FP1

100　〔販売技術一般〕商法(6)
101　商人(7)
102　販売員(2)；*salesmen and salesmanship-clothing
103　販売力(4)
104　商品知識(1)
110　販促(9)；販売促進(3)；プロモーション(2)
120　〔店舗設計全般〕
121　売場(17)
122　フロア構成(2)
123　*store fixture
124　ディスプレイ（小売）(2)；陳列(2)；*display of merchandise
125　〔ウインドディスプレイ〕*show-windows
126　*照明
130　訪問販売(3)；行商活動(1)
131　〔カタログ販売，通信販売〕*catalogue commercial; *mail-order business
132　*subscription trade
133　〔行商〕；行商活動(1)
134　〔景品販売〕*premium (retail trade)
135　バーゲン(4)
140　リニューアル(2)；リフレッシュ(2)
141　売れ筋(4)；売筋商品(1)

AQ0

000　繊維(315)；ステープル(5)；ファイバー(2)；*繊維；*fibers
001　素材(58)；新素材(4)；材質(3)；被服材料(2)；原料(4)；*被服材料；材料学(2)
002　原料遡及(1)
004　*textile waste
009　*blended yarn
010　*動物繊維；*animal fibers; **237**
011　絹(46)；きぬ(2)；シルク(3)；*silk/textile fibers
012　絹織物(8)；*絹織物
013　絹糸(2)；*絹糸
014　生糸(14)；*生糸
015　養蚕(4)
016　繭(3)；*繭
017　*真綿
020　毛(42)；ウール(12)；ウール地(2)；*羊毛(9)；*羊毛；*wool/textile fibers
021　毛織物(7)；毛織(2)
022　*wool waste
023　毛皮(10)；*毛皮；*furgarment
.1　ミンク
024　皮革(18)；皮(2)；レザー(7)；レザ(4)；*皮革；*皮革製品；*hide-sand skins; *buckskin suit; *leather garment
025　スエード(5)
026　*鞣革
028　〔牧畜，牧畜業〕牧羊(1)；**236** wool production
030　ダウン(4)；羽毛(2)
040　〔鉱物繊維〕
041　*asbestos fibers; *ロックウール；*石綿

050 〔植物繊維〕
051 紙布(7)；紙子(2)；紙衣(2)；*紙子；*paper threads
052 *紙製品；*和紙；*紙工紙
054 〔樹皮繊維〕
.1 *こうぞ
.2 *みつまた
.3 藤布(2)
055 *藁；*藁工品；*straw coats
056 *パルプ
060 麻(2)
061 麻織物(2)；*麻織物
.1 *マニラ麻
.2 *flax
.3 *hemp
.4 jute ramie
070 綿(53)；木綿(26)；もめん(4)；モメン(2)；コットン(4)；*綿
071 綿製品(2)
072 木綿布(2)
073 *綿織物；*cotton fabrics
074 綿花(7)；*綿花
075 綿スフ(3)
076 綿糸(2)；*cotton yarn
077 *ふとん綿
079 〔衣料繊維農業〕**248**
080 合繊(43)；合成繊維(10)；合成繊維原料(1)；*synthetic fabrics
081 化学繊維(5)；化繊(5)；*化学繊維
082 合成特化素材(1)
083 レーヨン(3)；人絹(3)；スフ(8)；*人造絹糸；*Rayon, Synthetic fabrics
084 *人造絹糸織物
.1 *アセテート
085 ナイロン(1)；*ナイロン；*nylon
.1 ウーリーナイロン
086 ポリエステル(24)；ポリエステル繊維織物(1)
087 アクリル(3)；アクリル繊維(2)；*アクリル繊維
088 ストレッチファブリックス(11)；*stretch woven fabrics
089 スパンデックス(2)
090 人工皮革(4)；*合成皮革；*leather, artificial
091 炭素繊維(2)
092 ポリノジック(2)

BQ2
200 *textile industry and fabrics-study and teaching
201 *textile schools

BQ3
300 〔繊維，素材についての情報一般〕繊維事情(5)
310 *textile museum; *textile industry and fabrics museum

CQ1
100 織物金融(1)

CQ2
200 麻問屋(2)

CQ3
300 繊維貿易(4)
301 羊毛貿易(2)
302 生糸貿易(2)

DQ0
000 テキスタイルアート(1)；*textile design
001 *fancy work
003 材質感(4)
004 *手芸—図案
005 *染色—図案
006 *刺繍—図案
007 *織物—図案
009 *needlework-pattern
010 *sizing (textile)

DQ4
400 *textile design competition

EQ0
000 *繊維工学

EQ1
100 布(35)；布地(17)；布帛(2)；服地(9)；生地(4)；スーツ地(3)
101 〔布の巾〕
.1 小巾(2)
.2 広巾(3)
102 布の厚さ・厚み(4)
105 色彩(66)；カラー(84)；色(33)
106 〔色彩理論〕色彩学(5)
107 流行色(4)；色彩傾向(3)；色彩動向(2)
108 嗜好色(5)；色彩嗜好(4)
109 色感(3)；色彩感覚(2)；色彩感情(2)
110 〔色の組合せ，調和，対比〕配色(8)；

異色(3)；色差(1)；五色(1)
111　彩色(1)；彩色法(1)
112　測色(1)
113　〔有・無彩色〕
.1　有彩色(3)
.2　無彩色(4)
114　色名(4)；色彩語(1)；色彩語彙(1)
.1　紫(3)
.2　赤系統(2)；赤(2)
.3　青(2)
.4　黄(1)
115　〔三属性に関するもの〕
.1　色相(3)
118　〔色についての他の観点〕
.1　色調(4)
.2　純色(1)
120　文様(47)；模様(28)；柄(14)；紋(3)；衣服文様(2)
121　装飾文様(2)
122　図案(2)；*pattern design
123　紋章(5)；家紋(4)
124　〔染，織および布帛一般に施された柄〕織文(3)；染色文様(2)
128　〔文様名〕
.1　縞(5)；ストライプ柄(1)
.2　小紋(5)
130　〔糸一般〕糸(17)；*yarn
131　紡績(40)；*紡績；*spinning
.1　綿紡(5)；*綿糸紡績
.2　*麻糸紡績
.3　*羊毛紡績
.4　*オープンエンド紡績
.5　*絹糸紡績
132　紡績(27)
133　製糸(7)
134　撚糸(2)；*撚糸
135　梳毛(2)；*carding
136　毛糸(5)
137　糸の太さ(2)
138　*加工糸；*fancy yarn; *tufted textile; *laminated fabrics
140　染織(90)；染織品(10)；染色工芸(3)
141　織物(167)；テキスタイル(48)；織・織り(34)；織布(10)；機織り(4)；ウィービング(3)；織り組織(1)；織物構造(1)；*機織り；製織；*織物；**286**
142　不織布(9)；製絨(1)；*不織布；*nonwoven fabrics; *felt; **287**
143　手織り(10)
144　〔経緯の態様〕経緯(2)；緯糸(2)；緯糸の斜行(2)；一本経(1)
145　*紋織；*紋織物
.1　タピスリ(3)；*tapestry
147　交織品(3)
148　〔織物の種別〕
.1　ジーンズ(37)；*jeans
.2　コール天(2)
.3　綾(2)
.4　ベルベット(3)；別珍(2)；*velvet
.5　ラシャ(1)
.6　ガーゼ(1)
.7　*紬
.8　*毛布
.9　タオル布(1)；*タオル
149　〔織物の種別〕
.1　*terry fabrics
150　ニット(76)；編地(7)；編物(6)；メリヤス(6)；編立(2)；綿メリヤス(1)；綿ニット(1)；*編物；*メリヤス；*knitting, machine
151　手編み(3)
152　〔ニットの種別〕
.1　横編(9)
.2　棒針編み(2)
.3　アフガン編み(2)
154　*reweaving
155　*stretch woven fabrics
160　染色(104)；染・染め(81)；染色加工(14)；染色整理(2)；染物(2)；染色法(5)；染色性(7)；染色布(5)；染色物(2)；*染色；染布(2)；dyes and dyeing
161　*染料科学
162　染着率(1)
163　脱色(2)；*漂白；*bleaching
164　褪色(2)；染色堅ろう度(3)；*color-fastness
165　防染(4)；防染性(2)
166　媒染(4)；媒染剤濃度(3)
167　草木染(22)
168　手描(2)；*textile painting; *fabric pictures
169　型染・型染め(12)；プリント(28)；捺

染(5); 手捺染(4); 転写(2); 型絵(2); *捺染法
170 絞り(22); *絞染
171 絣(17); *絣
175 〔染めの通称〕
.1 calico printing
176 〔染料による染めの種類〕
.1 *coal tar colors
178 〔技法による染めの種類〕
.1 高温染色(1); 染色温度(1)
.2 板引(1)
.3 *ろうけつ染
180
.1 刺繍(10); *刺繍; *embroidery; *cross-stitch
.2 刺し子・刺子(10); 刺し子着(1)
.3 キルティング(2); *quilting
.4 レース(14); *レース; *lace and lace-making
.5 〔フリジン，ボーダー〕玉縁(2)
.6 マクラメ結び(1)
.7 棒針編み(2)
.8 マクラメ編(1)
181
.1 *編物（毛糸）
.2 *編物(レース); *needlepoint lace
.3 *アップリケ; *applique
.4 *組物（織維品）; *braid
.5 *網; *netting
.6 *ビーズ細工
.7 *rope; **284** knot and lashing; **284** cordage
.8 *samplers
.9 *punched work
182
.1 *patch work
.2 *passementries
.3 *drawn-work
.4 〔革細工〕**281**
185 〔籠，むしろ編〕**285**
186 *textile finishing
187 〔布面加工〕
.1 コーティング(1); *コーティング; *coated fabrics
.2 シルキー(4)
.3 糊付〔濃度〕(1); 糊料付着量(1); 糊料粘土(1)
.4 ネル(1); 綿ネル(1)
.5 *防水布; *waterproofing of fabrics
.6 *樹脂加工
.7 *mercerization
.8 *crimping of textiles
190
.1 布物性(2); 物性(7); 引張り(2); 物性変化(2)
.2 伸縮性(3); 伸縮(2); 収縮(2)
.3 風合い(9)
.4 ドレープ(9); ドレープ性(2); ドレープ係数(2)
.5 〔防災・防熱性〕熱抵抗(5); inflammable textiles
.6 堅ろう性(2); 堅ろう度(3)
.7 バイアス(2)
.8 ラン伝播(2)
.9 ウオッシャブル(9)
191
.1 耐光性(1)
.2 防しわ性(2); *creasing of textiles; *crease-resistant fabrics
.3 摩擦特性(1)
.4 変透過性(1)
.5 湿潤摩擦(1)
.6 捩率(1); よじれ(2)
.7 *帯電防止
.8 *フロック加工
.9 *rubberized fabrics

EQ4
400 染色業; **386**
401 織物業(16); 機業(8); 織布業(5); 織業(4); 織物工業(3); 織物産業(2); *機業
402 絹織物業(2)
403 綿織物業(3)
404 *毛織物工業
410 ニッター(1); *メリヤス産業; *knit goods industry
411 紡績業(20); 製糸業(2); 紡績業界(2)
422 蚕糸業(4)
424 牧羊業(2)
430 合繊業界(9); 合繊メーカ(2); 合繊産業(2); 合成繊維企業(1); *合成繊維工業; 384

431　繊維素化学工業
432　紡織業(4)
433　綿業(16)；*綿業
434　羊毛工業(2)
435　*flax industry
436　*皮革工業；　*leather industry and trade; **282**
437　*embroidery industry
438　*hand loom industry
439　*製紙業；*紙パルプ工業；**289**
440　染色業(2)；　*cleaning and dyeing industry
460　出機(4)
461　賃機(4)

FQ0
000　*fabric shops
001　絹物商(1)

AR0
000　メンズ(40)；紳士服(11)；メンズウェア(5)；男物(5)；男子服(3)；　*men's clothing;　男子(14)；　男性(9)；　紳士(15)；男(5)；成人男子(2)

BR3
300　*tailoring-periodicals

DR0
000　*tailoring-pattern design

ER2
200　*洋裁—男子服
201　*tailors

FR0
000　紳士服店(2)

AS0
000　婦人服(53)；レディス(25)；ウィメンズ(11)；女物(8)；女子服(3)；レディスウェア(2)；ウィメンズウェア(2)；*woman/costume;婦人(69);女子(55);女性(41)；女(12)；成人女子(6)；レディ(4)；　フェミニン(3)；　女装(3)；婦女(2)；女人(2)
001　ミス(2)
002　若年女子(2)；青年女子(2)
003　ミセス(5)
004　ＯＬ(2)
005　女学生(6)
006　女子大学生(3)；女子大生(2)
007　女子学生(11)
008　女子短大生(3)
010　妊産婦(5)；妊婦(5)；マタニティ(3)
011　母親(2)

ES2
200　*洋裁—婦人服；*dressmaking
201　*dressmakers
202　*tailoring (women's)

FS0
000　婦人服店(2)

AT0
000　子供服(29)；*children's clothing;　子供(15)；児童(9)
001　〔ミドルティーン〕
002　ローティーン(2)
003　シニア(2)
004　女児(2)
005　〔男児〕
006　乳児(3)；ベビー(2)
007　乳幼児服(5)；乳幼児(5)；*infants
008　幼児服(6)；幼児(6)
020　幼稚園児(1)
021　生徒(6)
022　学童(4)
023　小学校(16)
024　中学校(15)
025　高校生(10)；高校(5)

ET2
200　*洋裁—子供服

FT0
000　子供服店(5)

AU0
000　〔かたち，着かさねかた，覆う部位などによる衣服の種別〕
010　下着(14)；ファンデーション(10)；インナー(3);肌着(2);ランジェリー(2);下着類(2)；*underwear;* lingerie

AU1
100　〔着る人による区別—般〕
101　〔性別—般〕**562** sex status; **83** sex; **291-04**
102　〔未・既婚別—般〕**58** marriage
103　〔年令別—般〕 **561** age stratification; **291-04**
104　〔民族別—般〕**619** tribe and nation
105　〔地域別—般〕**13** geography
110　〔職業別—般〕 **463** occupational specialisation

111 〔社会的地位，身分，役割に関する区別一般〕 **554** status, role and prestige; **564** castes; **565** classes; **292-03**
113 ユニフォーム(12)；*uniforms; ◎uniform, civil
114 **357** domestic servants; **567** slavery
115 **54** entertainers
116 〔芸者〕
117 **548** prostitutes
120 **674** criminals, prisoners
121 **732** handicapped
122 **79** ecclesiastical specialists
123 **877** students
180 **76** the dead
181 **775** ghosts
182 **776** spirits, gods, angels, saints
183 〔象徴的人物〕 ◎symbolic figure; **532** representative art
184 〔宇宙人など空想上の人物〕 **532** representative art
190 人形(2)； *doll clothes; ◎dolls; ◎puppets
191 〔動物の衣服〕

AU2
200 〔目的，場合による区別一般〕 **292-01**
201 **821** seasonal changes; **291-05**
202 **512** daily routine
205 **484** travel
206 **515** swimming
207 **517** leisure time activities
208 **527** festival; **769** religious festival
209 〔假装〕
210 **535** dancing
211 **714** military garb
212 **764** funeral
213 **302** toilet
214 **466** labor
215 **513** sleeping
216 **585** wedding
217 **526** athletic sports
218 **527** rest days and holidays
219 〔映画，演劇用衣裳〕 **536** drama

EU2
200 *underwear/manufacture

EU4
400 *underwear industry

AV0
333 和服(56)
001 和装(30)
002 きもの(65)； 着物(4)； kimono(1)； *kimono
003 長着(13)
004 小袖(14)
010 羽織(1)
011 長じゅばん(2)
012 浴衣(6)；ゆかた(3)
013 単(3)；単衣(2)
014 袴(9)
015 法被(2)
016 足袋(3)
017 帯(12)

BV2
200 和裁教育(1)
201 和裁実習(1)

EV1
100 呉服(12)
101 着尺(4)
102 和服地(11)
103 浴衣地(2)
104 帯地(2)
110 和装色(5)
120 〔和服の柄一般〕
.1 *更紗模様；*更紗
150 ちりめん(3)；縮緬(2)；*縮緬
151 縮地(2)；縮み(2)；*ちぢみ
152 紬(13)
160 〔織りの銘柄〕
.1 博多織(16)
.2 西陣織(4)
180 〔染めの銘柄〕
.1 友禅(1)
.2 *友禅染

EV2
200 和裁(15)；和服構成(3)；*和服裁縫
210 大裁(7)
220 衿肩明き(3)
221 掛衿(2)
222 衿付け線(1)
230 筒袖(1)

EV4
400 和装業界(2)；和装産業(1)

FV0

000　呉服店(2)
AW0
000　装身具(10)；*accessories and ornaments; dress accessories
001　*小間物
002　〔洋品〕
003　雑貨(4)；*雑貨；*dry goods
010　組ひも(7)
011　*造花
012　*horse hair
013　*reliquaries
AW1
100　宝飾(2)；*jewerly
101　〔宝石一般とその種類〕宝石(3); *gems
104　〔貴金属一般とその種類〕
.1　*gold
.2　*silver
106　真珠(4)；pearl(2)
107　*cameo
108　サンゴ(2)
109　*paste jewelry
120　対耳輪(1)；*ear-rings
125　*rings
126　*rings, wedding
130　*necklace
135　*brooches
136　*fibula
137　〔safety pins〕
140　*bracelets
145　*pendants
160　*cross
161　*clips
162　*collars (jewelry)
163　*nose ornaments
AW2
210　*buttons; *studs
211　*aglets, aiglets, aiguillettes
212　*hooks and eyes
213　*cuff links
214　バックル(2)；*buckles
215　*pins
220　*belts
221　〔ズボン吊り〕*braces
222　〔bandoleers〕
223　〔wrist bands〕
224　chain
225　〔cummer bunds〕
226　襷(2)
230　ネクタイ(11)；*ネクタイ；*neckties; *cravats
231　*neckwear
232　ショール(2)；*shawls
233　スカーフ(7)；*scarves
234　マフラー(2)
235　*stoles
240　前掛(2)；*aprons
250　〔お守り，護符〕* amulets and talismans
251　〔signs and badges〕
252　*bells
253　*watches; *watch keys
254　*mirrors
255　〔腰などからさげる袋—sporran など〕
256　かぎ(2)
257　*eye glasses
AW3
300　かぶりもの(2)；頭装(2)；冠帽(2)；*headdress; *head-gear
301　帽子(5)；*帽子
303　*hats
304　〔caps〕
305　〔nightcaps〕
306　頭巾(2)
307　〔hoods〕
308　*veils
309　笠(3)；山笠(4)
310　〔turbans〕
311　*berets
320　〔crowns〕
321　〔bridal crowns〕
322　coronets
330　*masks
333　*覆面
340　〔headband〕*鉢巻
350　〔かぶりものに付属した飾り，シンボル—cockades など〕
351　*aigrettes
360　*髪飾；*hair ornaments
361　〔hair pins〕
362　櫛(1)；*combs
AW4
401　手袋(4); *gloves; *mittes and mittens; 〔cestus—籠手，など〕

402 *muffs
405 扇(1)；*扇；*fans
407 〔杖〕*staffs; *sticks, canes
408 〔笏のたぐい—sceptres など〕
415 洋傘(2); *傘; *umbrella and parasols
420 *喫煙具
425 手拭(4)；タオル(2)
430 カバン(2)；*鞄；*handbags
431 〔財布〕
432 袋物(2)；*袋物
435 風呂敷(2)
440 *handkerchiefs
450 〔手箱のたぐい—rochet など〕
451 〔snuff box〕
452 〔珠数，rosaries〕
490 〔武器，武具一般〕 **41** weapons and tools

AW5
500 はきもの(3)；履物(2)
501 靴(1)；シューズ(2)；革靴(1)；婦人靴(1)；ハイヒール(1)；*靴
502 〔靴の飾り，付属品—shoe rosettes, shoe horns, shoes roses, shoes buckles など〕
503 〔サンダル，サボの類〕
504 〔下駄〕
505 〔ぞうりの類〕
510 *靴下；*hosiery
511 〔短靴下〕*足袋
512 〔長靴下〕ストッキング(5)；婦人用ストッキング(1)
513 パンスト(1)
514 〔leggings〕
515 〔靴下の固定具—garters, leg-bands など〕
520 〔拍車〕

BW1
101 *hall-marks
102 *gold-standards of fitness
103 *silver-standards of fitness

BW2
201 *jewelry-collections and collecting; *jewelry-private collections

CW1
101 *jewelry trade
102 *jewelry price
103 〔宝飾品の売買に関して〕 *jewelry as an investment
110 *jewelry trade marks
151 絹リボン女工(1)
152 絹ベール機織女工(1)
190 *hosiery workers

DW2
260 足圧(1)
270 *safety shoes
271 *safety goggles
273 *safety hats

EW0
010 〔宝飾細工〕*jewelry making; **306**
011 〔貴金属細工〕*art metal work; **306**
013 銀細工(1)；*silver-smithing
014 〔金細工〕*gold-smithing
016 *pearl manufacture
020 〔合金〕*gold-alloys
021 打出し押出(1)；*engraving
030 〔骨，角，貝，べっ甲細工〕; **321** work in Bone, Horn, and Shell
050 *belt trade and manufacture
080 *shoe manufacture
085 *hosiery manufacture

EW3
310 *jewelry-repairing
380 *boots and shoe-repairing

EW4
410 *jewellers
411 *art metal-worker
412 *precious stones/manufactures
413 *pearl button industry
450 *clock and watch makers
460 *millinery
485 *hosiery industry

FW0
xxx *millinery ⇨EW460
470 ハンドバッグ店(2)

AX0
000 ヘア(3); 被髪(2); 髪(1); *毛髪; *hair
001 *ひげ
002 眉(6)
050 〔皮膚，肌色〕*color of man; *skin/anthropology

BX1
100 *理容師法

DX0

000 〔ヘアデザイン一般〕*理容; *理髪; 結髪(2); *結髪; *hair dressing
001 髪型(3); *髪形; **302.03**
002 〔毛髪を剃ること，脱毛〕; **302.01**
004 *hair dyeing and bleaching
030 化粧(29); *化粧; *cosmetics; **302.06**
031 メークアップ(4); メーク(2); *make-up
033 〔つけぼくろ〕patches (for the face)
035 〔肌の手入れ〕**302.04**
xxx 沐浴 ⇨DP241
040 *body marking; *skinmarking; **302.05**
041 文身(5); *入墨; *tatooing; **304.01**
043 *纏足
044 *mutilation; *circumcision; **304**
045 〔整形外科〕美容整形(1); *隆鼻術
062 薫香(1); 香合せ(1)
071 *skin friction

FX0
000 理容業(1); 理髪店
001 *美容業(1); *美容院; hair dressers; **305**

AY0
000 用具(3); 用品(3)
001 材料(7)

BY3
310 コンピューター，コンピュータ(10); マイクロコンピュータ(2); オフコン(3)
320 写真(6)
321 カメラ(5)

DY2
200 〔化粧品一般〕; 化粧品(33) **303**
210 *shaving brushes
220 〔化粧品容器〕
221 *perfume containers
230 *香料; perfumes
231 *香水
240 *soap
250 *歯磨
255 *wigs

EY0
000 *clothing factories
001 アトリエ(2)
010 *繊維機械; *textile machinery
011 **402** industrial machinery
012 **404** household machines and appliances
015 *shoe machinery
020 〔裁縫道具一般，およびその容器〕*needlework implements and appliance; *needlework boxes
021 *鋏
022 *刀物
023 針(3); *針; *pins and needles
024 定規(1)
050 *ブラシ
051 *接着テープ
070 *接着剤
071 *糊料; *adhesives
072 *膠
090 雛形体(2)

EY1
105 彩色材料(1); coloring matter
109 医薬品(3); 医薬品部外品(2)
110 染料(53); 染色材料(2); *染料
111 天然染料(17)
112 植物染料(13)
.1 藍(12); 外国藍(1); *あい; *indigo
.2 紅花(2)
.3 すおう(1)
.4 タンニン酸(2)
.5 木付子(2)
.6 青花(2)
113 染料植物(1); 藍作(1)
114 〔動物染料〕貝紫(3)
115 〔鉱物染料〕
117 〔合成，化学染料〕
118 反応染料(2)
119 分散染料
125 〔染色助剤〕
128 *漂白剤
129 *仕上糊料
130 *難燃剤
131 糊(5)〔染色用〕; *糊料
132 *蛹
140 *染色機械
141 シルクスクリーン(2)
150 織機(6); 機(2); 機織具(1); *織機; *looms
.1 力織機(1); 動力織機(1); *力織機
.2 ドビー(2)

151　〔編機〕*knitting machines
152　*紡績機械；*spining machinery
153　*carding machines
154　*twisting machines
157　*leather-machinery
158　*drying apparatus; clothes dryers
170　〔計測機器〕織密度計(1)
180　*jewellers' suplies
181　*barber's suplies

EY2

201　*patternmaking machinery
202　原型(2)；型紙(14)
205　人台(6)
210　シルエッター(7)
240　ミシン(22)；家庭用ミシン(1)；スラントミシン(1)；*ミシン；*sewing-machines; *sewing-equipment and supplies
.1　押え金(2)

EY3

300　〔保存，補修のための設備，機器一般〕
301　〔戸棚，物入れなど〕*clothes closets
305　ハンガー(2)
320　*laundry machinery; *washing machines
321　洗剤(5); *洗浄剤; *washing powders; 合成洗剤(1)；*合成洗浄剤
322　陰イオン界面活性剤(1)；*界面活性剤
330　*clothes moths
340　〔くつ墨—bootblacks など〕

EY4

400　工場(11)；*textile factories
410　*sewing-machine industry
411　392 machine industry

各概念につづく（　）中の数字は，〈衣料情報レビュー〉No. 1–10 掲載論文の，タイトル中での出現数。出現数 2 以上のもののみ。出現数 1 は，著者提出のキーワードによるもの。概念別先頭に。印のあるものは，その概念群がユニターム検索のためのみに用いられることを示す。〔　〕内はアスペクト。* 印につづく日本語概念は，主として国会図書館件名標目表にもとづく。*印につづく欧文概念は，主として LC Subject Headings にもとづく。◎印につづく欧文概念は costume index にもとづく。概念別末尾ボールド数字は，OCM であるが，29～31項については，原則として標数のみを記した。